arcserve®



Arcserve ライセンス アクティベーション 手順書

Rev: 1.3 (2024/07/08)

目次

1 ライ	′センスの有効化処理	1
1.1	アクティベーション / キー生成に必要なもの	1
1.2	アクティベーションの対象サーバと処理方法	2
1.2.1		
1.2.2	強制的にオフライン アクティベーションを実行する方法	3
1.2.3	アクティベーションの収集情報	3
1.3	キー生成の対象サーバと処理方法	4
1.4	アクティベーション / キー生成の流れ	4
1.5	ライセンス ポータル	5
1.5.1	ライセンス プール (アクティベーション方式のみ)	5
2 オン	・ ・ライン アクティベーション	6
2.1	各製品でのオンライン アクティベーションの実施	6
2.1.1	Arcserve UDP コンソールでのアクティベーション	6
2.1.2	Arcserve Backup でのアクティベーション	8
2.1.3	Arcserve UDP Archiving でのアクティベーション	g
2.2	ポータルでのライセンス割り当て	10
2.2.1	1 台のサーバに全ライセンスを割り当て	10
2.2.2	複数のサーバにライセンスを割り当て (1 台目)	12
2.2.3	複数のサーバにライセンスを割り当て (2 台目以降)	15
2.3	製品へのライセンス キー反映	16
2.3.1	Arcserve UDP コンソールでのライセンス反映	17
2.3.2	Arcserve Backup でのライセンス反映	18
2.3.3	Arcserve UDP Archiving でのライセンス反映	21
2.4	ARCSERVE UDP / BACKUP 同居サーバの追加処理	23
2.4.1	Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition の場合	23
2.4.2	Arcserve UDP Tape Integration の場合	23
2.4.3	Arcserve UDP Appliance の場合	24
2.4.4	Arcserve UDP / Backup 単体製品 の組み合わせの場合	24
3 オフ	フライン アクティベーション	28



arcserve[®]

3.1 1	各製品でのオフライン アクティベーションの実施	28
3.1.1	Arcserve UDP コンソールでのアクティベーション	28
3.1.2	Arcserve Backup でのアクティベーション	30
3.1.3	Arcserve UDP Archiving でのアクティベーション	32
3.2	ポータルでのライセンス割り当て	34
3.2.1	ファイルのアップロード	34
3.2.2	ポータルへのアカウント設定とライセンス割り当て	36
3.2.3	ファイルのダウンロード	38
3.3	製品へのライセンス キー反映	39
3.3.1	Arcserve UDP コンソールでのライセンス反映	40
3.3.2	Arcserve Backup でのライセンス反映	41
3.3.3	Arcserve UDP Archiving でのライセンス反映	44
3.4	ARCSERVE UDP / BACKUP 同居サーバの追加処理	47
3.4.1	Arcserve UDP を先にアクティベーションしている場合	47
3.4.2	Arcserve Backup を先にアクティベーションしている場合	54
4 製品	キーの生成 (一部の ARCSERVE 製品のみ)	60
4.1	製品キー生成の準備	60
4.1.1	Arcserve ライセンス ポータルのアカウント作成	60
4.1.2	ポータルに Order ID / Fulfillment Number を追加	62
4.2	ライセンス キーの発行	64
4.3	製品側でのライセンス キーの登録	66
4.3.1	Arcserve UDP Windows エージェントへの登録	67
4.3.2	Arcserve UDP Linux エージェントへの登録	68
4.3.3	Arcserve RHA への登録	69
5 ライ	センスの追加	72
5.1	ポータル サイトにライセンスを追加	72
5.2	オンライン アクティベーション方式の追加反映	75
5.3	オフライン アクティベーション方式の追加反映	75
5.3.1	Arcserve 各製品の反映処理	75
5.3.2	Arcserve UDP / Backup 同居サーバの反映処理	76
6 ライ	・ センスの解放	79



6.1	オンライン アクティベーション方式の解放	79
6.1	1.1 Arcserve UDP コンソールでのライセンス解放	79
6.1	1.2 Arcserve Backup でのライセンス解放	80
6.1	1.3 Arcserve UDP Archiving でのライセンス解放	81
6.2	オフライン アクティベーション方式の解放	83
6.2	2.1 Arcserve UDP コンソールでのライセンス解放	83
6.2	2.2 Arcserve Backup でのライセンス解放	84
6.2	2.3 Arcserve UDP / Backup 同居サーバでのライセンス解放	87
6.2	2.4 ライセンス ポータルへのファイル アップロード	88
6.3	ライセンス プールの削除	90
7 そ	- の他	94
7 1	ニノわいフの磔窃	0.4
7.1	ライセンスの確認	
7.2	電子メール アドレスの変更	94
7.2 7.3	電子メール アドレスの変更ライセンスの割り当て変更	94
7.2 7.3 7.3	電子メール アドレスの変更ライセンスの割り当て変更	
7.2 7.3 7.3 7.3	電子メール アドレスの変更ライセンスの割り当て変更	
7.2 7.3 7.3 7.3 7.3	電子メール アドレスの変更	
7.2 7.3 7.3 7.3 7.3 7.4	電子メール アドレスの変更	
7.2 7.3 7.3 7.3 7.4 7.5	電子メール アドレスの変更	
7.2 7.3 7.3 7.3 7.4 7.5 7.6	電子メール アドレスの変更	
7.2 7.3 7.3 7.3 7.4 7.5	電子メール アドレスの変更	

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

© 2024 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.



CICSEIVE® 2024/7/8 Rev:1.3

1 ライセンスの有効化処理

Arcserve シリーズ製品のライセンスを有効にするには、アクティベーションでライセンス認証を実施する方法と、ライセンスのポータルサイトでキーを生成する方法があります。有効化の方法は製品や構成により決められますが、どちらの方法も同じ Arcserve のライセンス ポータル サイトで管理され、保有ライセンス数やメンテナンス有効期限など、ライセンスに関する情報をいつでも確認できるようになります。

Arcserve ライセンス アクティベーション、もしくはポータルサイトでのキー生成を行う製品は下記バージョンの製品が対象になります。

- ▶ ライセンス アクティベーション
 - Arcserve Unified Data Protection (Arcserve UDP) 7.0 以降のコンソール環境
 - Arcserve Backup 18.0 以降
 - Arcserve UDP Archiving 6.0 以降
- ポータルサイトでのキー生成
 - Arcserve Unified Data Protection (Arcserve UDP) 7.0 以降のエージェント単体環境
 - Arcserve Replication / High Availability (Arcserve RHA) 18.0 以降 (Arcserve UDP Premium / Premium Plus 付随の Arcserve RHA は除きます)
- ※ Arcserve UDP の各工ディションに同梱している Arcserve UDP Tape Integration ライセンス (テープ連携用のライセンス) は、Arcserve Backup の導入サーバでアクティベーションを実施します。
- ※ アクティベーション / キー生成の対象バージョンよりも過去の製品は、ライセンス プログラム証書や製品 ボックス内に記載のある製品キーをそのまま製品側に登録します。
- ※ ダウングレード権限を持つライセンスを保有している場合は、後述の 弊社<u>ライセンスデスク</u>に該当バージョンの製品キー発行を依頼してください。

補足: Arcserve ライセンス アクティベーション / キー生成の概要や流れを掴むため、カタログセンター掲載の下記ドキュメントも合わせてご覧ください。

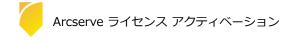
ライセンス アクティベーションについて

https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/03/as-activation.pdf

1.1 アクティベーション / キー生成に必要なもの

アクティベーションやポータルサイトでのキー生成を行なうには、下記の情報と環境が必要になります。

- 6桁の「Order ID」と8桁の「Fulfillment Number (フルフィルメント ナンバー)」
 - ✓ Arcserve ライセンス プログラム証書に記載
 - ✓ ボックス製品内のシール (水色の枠) や、オプション/エージェント用の別紙に記載
- 受信可能な電子メールアドレス (後述 Arcserve ライセンス ポータルのアカウントになります)



- HTML 形式で受信できるメール クライアント (別ノードで可)
- インターネット接続
 - ※ アクティベーションを実施する製品でインターネット接続ができない場合は、オフラインで アクティベーションを実施できますが、別ノードからのインターネット接続が必要です。

1.2 アクティベーションの対象サーバと処理方法

アクティベーション処理は、下記モジュールを導入するサーバ上で実施します。

- Arcserve UDP コンソール 導入サーバ (Arcserve UDP アプライアンス含む)
- Arcserve Backup ベース製品 (プライマリ / スタンドアロン) 導入サーバ
- Arcserve UDP Archiving の仮想アプライアンス

1.2.1 アクティベーション方法

アクティベーションには、「オンライン アクティベーション」と「オフライン アクティベーション」の2種類があります。「オンライン アクティベーション」は、アクティベーションを行ったサーバでインターネット接続環境を維持する必要がありますが、将来的なライセンスの追加や変更処理を簡単に行なえます。「オフライン アクティベーション」は、インターネットへの接続が不要なため、セキュリティ上の不安要素を軽減できます。





留意点

- ※ 「オンライン アクティベーション」を行なった場合に、インターネットから一定期間 (45 日間) 遮断されると、Arcserve 製品のライセンスが一時停止の状態になります。
- ※ インターネットに接続できる環境では、自動的に「オンライン アクティベーション」になります。 インターネット接続環境において、オフラインでアクティベーションを実施するには、この次にあ る [1.2.2 強制的にオフライン アクティベーションを実行する方法] を参照してください。



1.2.2 強制的にオフライン アクティベーションを実行する方法

「オンライン アクティベーション」はアクティベーションの時だけでなく、その後もインターネット に接続できる環境を維持する必要があるため、インターネット接続ができなくなる環境では「オフライン アクティベーション」方法にてライセンス認証を行ないます。

インターネット接続ができる環境で「**オフライン アクティベーション」**を実施するには、製品側でアクティベーション処理を開始する前に、下記いずれかを実施します。

- アクティベーション実施サーバでインターネット接続を無効にする ネットワークの設定や物理的な結線を外し、インターネットに接続できないようにします。
- 設定ファイルを編集する (Arcserve UDP Archiving は除きます) アクティベーションを実施するサーバでファイルを編集します。

(ア) 対象ファイルとファイルの保管先

対象ファイル: EntitlementRegister_Windows.properties

Arcserve UDP のファイル保存先:

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\

Arcserve Backup のファイル保存先:

C:\Program Files (x86)\PCA\PARCserve Backup\P

(イ) ファイルの編集

EntitlementRegister_Windows.properties をメモ帳で開き、SERVERNAME 行を書き換えます。

SERVERNAME=www.arcserve-register.com

SERVERNAME=www.dummy-arcserve-register.com

編集が終ったら、保存して終了します。

1.2.3 アクティベーションの収集情報

「オンライン アクティベーション」や「オフライン アクティベーション」では、アクティベーション を実施するサーバにて下記情報を収集しています。

- 電子メールアドレス
- Order ID
- Fulfillment Number
- (指定された場合)名前
- (指定された場合)会社名
- (指定された場合)電話番号
- ホスト名



CICSETVE® 2024/7/8 Rev:1.3

■ マシン固有情報: Bios Serial Number

■ マシン固有情報: CPU ID

■ マシン固有情報: MachineGuid

Arcserve UDP Archiving の場合は、仮想アプライアンスの MAC アドレスを取得します。

1.3 キー生成の対象サーバと処理方法

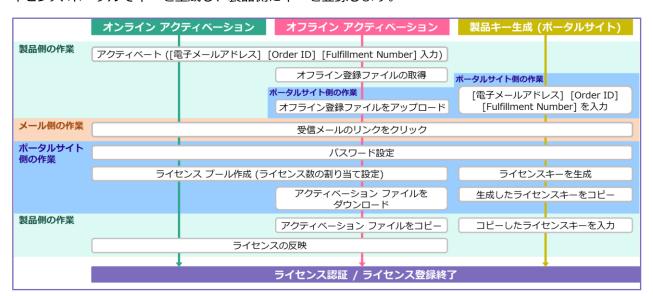
ポータルサイトでのキー生成は、クライアント PC などインターネットに接続できる環境から生成できます。生成したキーを下記モジュールに登録します。

- Arcserve UDP Windows エージェント
- Arcserve UDP Linux バックアップ サーバ
- Arcserve RHA コントロールサービス



1.4 アクティベーション / キー生成の流れ

「オンライン アクティベーション」や「オフライン アクティベーション」では、製品側での作業後に受信した電子メール内のリンクをクリックし、ライセンスの反映を実施します。「製品キー生成」では、ライセンス ポータルでキーを生成し、製品側にキーを登録します。



CICSETVE[®] 2024/7/8 Rev:1.3

1.5 ライセンス ポータル

Arcserve ライセンス ポータルは、アクティベーションでの認証処理や、製品キーを生成する際に利用するポータル サイトです。そのほかアクティベーション方法や保有ライセンス数の確認やライセンスの追加処理、ライセンス登録先の変更など様々な機能を提供します。

ライセンス管理を提供するポータルサイト (アクティベーションや製品キー生成でライセンスを有効化するサイト)

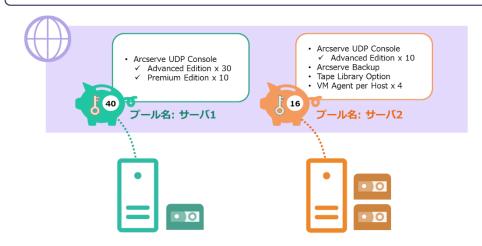


1.5.1 ライセンス プール (アクティベーション方式のみ)

ライセンス プールは、ライセンス ポータルに作成される、ライセンスの貯蔵庫です。アクティベーション処理中にライセンス プールを作成し、各サーバに割り当てるライセンスと数量をプールに指定します。作成されたライセンス プールは、アクティベーションを実施したサーバと紐付けが行なわれ、各サーバはライセンス プールに割り当てられたライセンスの範囲内で、製品を利用できるようになります。

- ※「オンライン アクティベーション」もしくは「オフライン アクティベーション」でライセンス認証 を実施するサーバでは、ライセンス プールを利用します。
- ※「**オンライン アクティベーション**」の処理方法によって、ライセンス プールを自動作成するケース があります。

各アクティベーション実施サーバで1つのライセンスプールを保有



CICSEIVE® 2024/7/8 Rev:1.3

2 オンライン アクティベーション

「オンライン アクティベーション」はインターネットに接続できる [1.2 アクティベーションの対象サーバと処理方法] に記載されているサーバで行われます。各製品でアクティベーションを実施した後、ライセンス ポータルを経由して有効なキーを製品側に反映させます。

2.1 各製品でのオンライン アクティベーションの実施

各製品のヘルプ メニューからアクティベーションを実施します。

- Arcserve UDP
- Arcserve Backup
- Arcserve UDP Archiving

2.1.1 Arcserve UDP コンソールでのアクティベーション

Arcserve UDP でアクティベーションが必要な環境は、バックアップ対象のサーバやクライアント、Office365、共有フォルダを管理している Arcserve UDP コンソールです。リモート管理のコンソールの場合は、バックアップ対象を持たない限り、アクティベーション作業そのものが不要です

インターネット接続でプロキシを経由する場合は、最初に [7.4 <u>インターネット プロキシの設定</u>] を行ってください。

(ア) アクティベーション画面

Arcserve UDP コンソール画面にログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [アクティベーションとライセンス] をクリックします。



(イ) アクティベーションの実施

受信可能な電子メールアドレスと、Order ID、Fulfillment Number を入力し、左下の [アクティブ化] をクリックします。

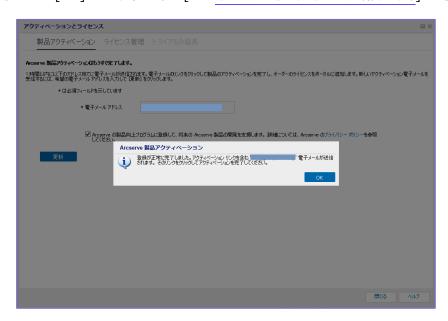




- ※ 1 つ目のチェック ボックス: Arcserve の製品向上プログラムへの登録は任意ですが、2 つ目のチェック ボックス: マシン固有データの収集は必須になります。
- ※ ライセンス プログラム証書に、複数サーバに割り当てるライセンスが記載されている場合は、すべてのサーバで同じ Order ID と Fulfillment Number を利用します。 (ライセンス プログラム 証書に掲載される Order ID と Fulfillment Number は 1 セットです)
- ※ ボックス製品の場合は、ボックス内にある Order ID と Fulfillment Number を使用します。2 つ目以降のボックス製品のアクティベーションは [5 ライセンスの追加] を参照してください。

(ウ)アクティベーションの確認

登録ができたら [OK] をクリックし、[2.2 ポータルでのライセンス割り当て] に進みます。



※ Arcserve UDP のバックアップ データをテープにコピーする場合は、付随の Tape Integration 用のライセンスを Arcserve Backup 側に登録します。(Arcserve UDP で利用した Order ID、



Fulfillment Number を利用します) Arcserve UDP コンソールと Arcserve Backup ベース製品を同一サーバに導入している場合は、1回のアクティベーションで両製品とも認証されます。

※ Arcserve UDP コンソール環境のアクティベーションが終わった後に、Tape Integration 用の Arcserve Backup を同じサーバに導入する場合は、Arcserve Backup の導入後に [2.3.2 Arcserve Backup でのライセンス反映] のみ実施してください。

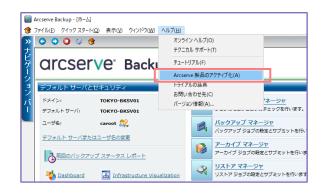
2.1.2 Arcserve Backup でのアクティベーション

Arcserve Backup ではバックアップ サーバとなるベース製品 (プライマリ サーバ/スタンドアロン サーバ) を導入しているサーバでアクティベーションを実施します。

インターネット接続でプロキシを経由する場合は、最初に [7.4 <u>インターネット プロキシの設定</u>] を行ってください。

(ア) アクティベーション画面

Arcserve Backup マネージャ画面の [ヘルプ] から [Arcserve 製品のアクティブ化 (A)] をクリックします。



(イ) アクティベーションの実施

受信可能な電子メールアドレスと、Order ID、Fulfillment Number を入力し、左下の [アクティブ化] をクリックします。



※ 1 つ目のチェック ボックス: Arcserve の製品向上プログラムへの登録は任意ですが、2 つ目のチェック ボックス: マシン固有データの収集は必須になります。

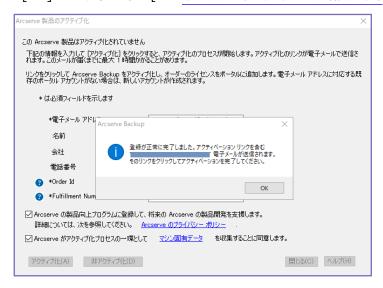




- ※ ライセンス プログラム証書に、複数サーバに割り当てるライセンスが記載されている場合は、すべてのサーバで同じ Order ID と Fulfillment Number を利用します。 (ライセンス プログラム証書に掲載される Order ID と Fulfillment Number は 1 セットです)
- ※ ボックス製品の場合は、ボックス内にある Arcserve Backup ベース製品用の Order ID と Fulfillment Number を使用します。オプションやエージェント製品の登録は [5 $\overline{ 5/1}$ $\overline{ 5/1}$

(ウ)アクティベーションの確認

登録ができたら [OK] をクリックし、[2.2 ポータルでのライセンス割り当て] に進みます。



2.1.3 Arcserve UDP Archiving でのアクティベーション

Arcserve UDP Archiving では、仮想アプライアンスでアクティベーションを実施しますが、操作はWindows クライアントなどの Web ブラウザ経由で実施します。

(ア) アクティベーション画面

スーパー管理者である "Super Admin" で Arcserve UDP Archiving にログイン後、右上のユーザ名をクリックし、「アクティベーションとライセンス」をクリックします。



(イ) アクティベーションの実施

[製品アクティベーション] タブ側に受信可能な電子メールアドレスと、Order ID、Fulfillment Number を入力し、 [アクティブ化] をクリックします。



※ 1 つ目のチェック ボックス: Arcserve の製品向上プログラムへの登録は任意ですが、2 つ目のチェック ボックス: マシン固有データの収集は必須になります。

(ウ) アクティベーションの確認

登録ができたら [閉じる] をクリックし、
[2.2 ポータルでのライセンス割り当て] に進みます。



2.2 ポータルでのライセンス割り当て

ライセンス プログラム証書記載の Order ID と Fulfillment Number の場合には、1台のサーバにすべてのライセンスを割り当てる方法と、複数のサーバにライセンスを割り当てる方法があります。ライセンスの割り当ては製品ごとに実施するため、アクティベーションを実施中の製品のみ割り当てます。

- ※ Arcserve UDP Archiving では、全ライセンスを 1 台のサーバに割り当てます。 (Arcserve UDP Archiving は製品機能の中でライセンスの割り振りを実施します)
- ※ Arcserve UDP や Arcserve Backup のボックス製品では、振り分けるライセンスがないため、1 台の サーバにすべてのライセンスを割り当てる方法を利用すると、手順を簡略化できます。

2.2.1 1台のサーバに全ライセンスを割り当て

各製品のアクティベーションで指定した電子メール アドレスに、登録用のメールが届きます。電子メールから Arcserve ライセンス ポータルにアクセスし、アクティベーションを実施しているサーバにライセンスの割り当てを実施します。



(ア) メール受信の確認

各製品でアクティベート処理を実施すると、通常 1 時間以内に電子メールが届きます。電子メール を開き、ライセンス割り当てに進みます。

件名: 要アクション: Arcserve 製品登録

差出人: Arcserve Registration < Arcserve. Registration@arcserve.com>

(イ) ライセンス割り当て (全ライセンスの割り当て)

製品すべてのライセンスを割り当てるため、メール本文の [アクティブ] をクリックします。



※リンクの有効期限(72 時間)を超えている場合でも、[アクティブ] をクリックします。この場合、 有効期限経過の画面となり、再度 72 時間有効の電子メールが届きます。

すでにライセンス ポータルにアカウントを保有している場合

アクティベーションで指定した電子メールアドレスが、ライセンス ポータルに登録されている場合には、メールの内容が変わります。

メール本文の [アクティベーションを完了する] をクリックし、[2.2.2 複数サーバにライセンスを割り当て (1 台目)] の (ウ) の手順から同じ処理を実施します。(1 台のサーバにすべてのライセンスを割り当て可能です)



(ウ) 全ライセンスの割り当て確認と Arcserve ライセンス ポータルへのパスワード設定

ライセンス プログラム証書記載の Order ID と Fulfillment Number の場合には、

Arcserve ライセンス ポータルへのアクセスで、アクティベーション処理は完了になります。後日のライセンス管理のためにパスワードを設定し、[保存] します。製品側での反映処理を行なうため、[2.3 製品へのライセンスキー反映] に進みます。

※ パスワード保管をスキップした場合は、 Arcserve ライセンス ポータルにアクセス する際に、パスワードのリセット処理を行 なってください。アカウントはアクティ ベーションで指定した電子メールアドレス になります。



2.2.2 複数のサーバにライセンスを割り当て (1 台目)

ライセンス プログラム証書に複数サーバ用のライセンスが記載されている場合、各サーバでライセンスの割り当て数を定義します。

※ ボックス製品は、それぞれ異なる Order ID と Fulfillment Number となるため、 $[2.2.1\ \underline{1\ \pm000}]$ ーバに全ライセンスを割り当て $[2.2.1\ \underline{1\ \pm0000}]$ の方法を参照してください。

(ア) メール受信の確認

各製品でアクティベート処理を実施すると、登録用の電子メールが指定のアドレスに届きます。(通常1時間以内)電子メールを開き、ライセンス割り当てに進みます。





件名: 要アクション: Arcserve 製品登録

差出人: Arcserve Registration < Arcserve. Registration@arcserve.com>

(イ) ライセンス割り当て (一部のライセンスの割り当て)

同じ製品のライセンスを複数のサーバに割り当てるには、メール本文の"複数のサーバへのライセンスの割り当ての詳細については、ここをクリックしてください。"をクリックします。

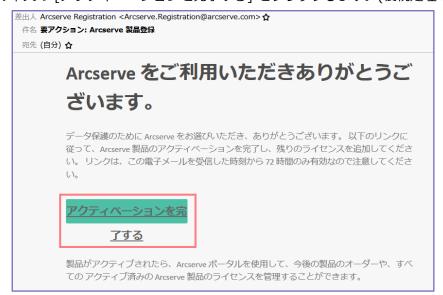


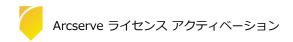
※リンクの有効期限(72 時間)を超えている場合でも、"ここ"をクリックします。この場合、有効期限経過の画面となり、再度 72 時間有効の電子メールが届きます。

すでにライセンス ポータルにアカウントを保有している場合

アクティベーションで指定した電子メールアドレスが、ライセンス ポータルに登録されている場合には、メールの内容が変わります。

メール本文の [アクティベーションを完了する] をクリックします。(後続処理(ウ)はスキップ)







(ウ) Arcserve ライセンス ポータルへのパスワード設定

一部のライセンスを割り当ては Arcserve ライセンス ポータルで行ないますが、まずはログオンするためのパスワードを指定し、[保存] をクリックします。



(工) プールの作成と1台目のサーバに割り当てるライセンス数の指定

Arcserve ライセンス ポータルでライセンスを有効化するには、ライセンスを割り当てるプールを作成します。



1台目のサーバ用のプールを作成します。

[ライセンス プール名] にプール名を、[新しいプールの数量] に 1 台目に割り当てる数を指定します。割り当てを行なわない製品には "0" を入力します。("Enter Number" が無い状態にします)

※ Arcserve UDP コンソールと Arcserve Backup ベース製品を同じサーバに導入している場合は、 両方のライセンスを割り当てます。

最後に [保存] をクリックしてプールを作成します。



ライセンス プールの作成が終了すると、"License Pool created successfully" ライセンスプールの作成が成功しました。というダイアログが表示します。1 台目のサーバはこの処理でアクティベーションが完了します。1 台目のサーバの製品側で反映処理を行なうため、[2.3 製品へのライセンス キー反映] に進みます。



2.2.3 複数のサーバにライセンスを割り当て (2 台目以降)

2 台目以降のサーバも 1 台目と同様に電子メールから Arcserve ライセンス ポータルにアクセスし、ライセンスを割り当てます。

(ア) メール受信の確認

アクティベート後に届く、登録用の電子メールを開き、ライセンス割り当てに進みます。

件名: 要アクション: Arcserve 製品登録

差出人: Arcserve Registration < Arcserve. Registration@arcserve.com>

(イ) 残りライセンスの割り当て

2 台目以降のサーバの場合は、[アクティベーションを完了する] をクリックします。



※リンクの有効期限(72 時間)を超えている場合でも、[アクティベーションを完了する] をクリック します。この場合、有効期限経過の画面となり、再度 72 時間有効の電子メールが届きます。

(ウ) プールの作成と2台目以降のサーバに割り当てるライセンス数の指定

2台目以降のサーバ用となる、新しいプールを作成します。(サーバごとに異なるプールを持ちます)



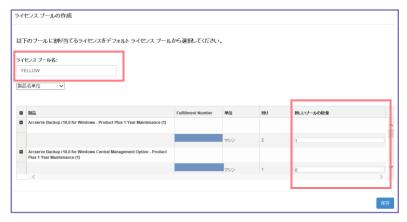


2台目以降のサーバ用のプールを作成します。

[ライセンス プール名] にプール名を、[新しいプールの数量] にアクティベーションを行なっている 2 台目以降のサーバに割り当てる数を指定します。割り当てを行なわない製品には "0" を入力します。("Enter Number" が無い状態にします)

※ Arcserve UDP コンソールと Arcserve Backup ベース製品を同じサーバに導入している場合は、 両方のライセンスを割り当てます。

最後に [保存] をクリックしてプールを作成します。



"License Pool created successfully" ライセンスプールの作成が成功しました。というダイアログが表示されると、アクティベーションが完了します。製品側で反映処理を行なうため、[2.3 製品へのライセンス キー反映] に進みます。

※ ライセンスを割り当てるサーバが 3 台以上ある場合は、製品でのアクティベーションとポータルでのライセンス割り当てを繰り返します。

2.3 製品へのライセンス キー反映

Arcserve ライセンスポータルでのライセンス割り当て処理の後、アクティベーションを実施した製品画面にもどり、ライセンス キーを反映させます。

- Arcserve UDP
- Arcserve Backup



Arcserve UDP Archiving

2.3.1 Arcserve UDP コンソールでのライセンス反映

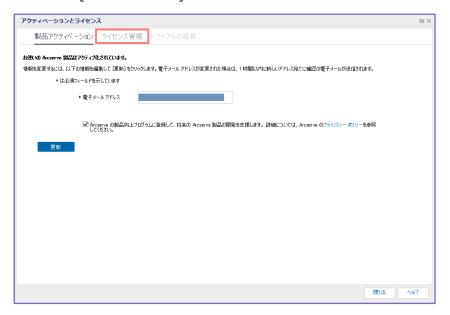
(ア)アクティベーションとライセンス

Arcserve UDP コンソール画面にログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [アクティベーションとライセンス] をクリックします。



(イ) ライセンス管理画面

画画面上部にある [ライセンス管理] をクリックします。



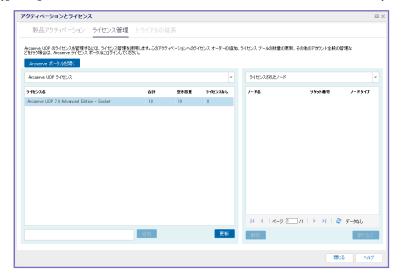
(ウ) ライセンス反映

[更新] をクリックします。





Arcserve ライセンス ポータルで割り当てたライセンスが、画面左側にある [ライセンス名] に追加されます。([更新] をクリックしなくても、反映されている場合もあります)



ほかにライセンスを割り当てるサーバが無ければ、ライセンス プログラム製品で購入されている方はこのステップでライセンス有効化は終了になります。

(工) Arcserve UDP ボックス製品の追加処理

Arcserve UDP をボックス製品で購入されている場合に、1 台の UDP コンソールに複数のエージェント製品を登録するには、2 つ目以降の製品で [5 ライセンスの追加] を実行してください。

(オ) Arcserve UDP コンソールと同居環境での追加処理

Arcserve Backup ベース製品と、Arcserve UDP コンソールを同じサーバに導入する場合は、[2.4 Arcserve UDP / Backup 同居サーバの追加処理] に進んでください。

2.3.2 Arcserve Backup でのライセンス反映



(ア) バージョン情報

Arcserve Backup マネージャ画面の [へルプ] メニュー一番下の [バージョン情報(A)...] をクリックします。



(イ) ライセンス反映前の確認と反映画面の呼び出し

画面上の "現在、この製品はライセンスされていません。" を確認し、[ライセンスの管理(M)...] をクリックします。



(ウ) ライセンス ポータルからライセンスをダウンロード

[更新] をクリックし、次に [OK] をクリックして画面を閉じます。(バックアップ処理を行なっていない場合、[更新] をクリックしても画面上何も変わりませんが、キーはダウンロードされています)



(工) ライセンスの反映確認

ダウンロードしたライセンスを確認するため、[ライセンスの追加/表示(L)...] をクリックします。





Arcserve License ポータルで割り当てた製品が [インストール タイプ] で "ライセンス取得済み" と 表示されます。[続行(T)] をクリックます。



(オ) ライセンス保有の確認

画面上の表示が"ライセンスされています。"に変わったことを確認し、画面を閉じます。



実際に割り当てられたライセンス数は、ライセンスモジュールから確認できます。

C:\Program Files (x86)\Program Files (x86)\Pro



ほかにライセンスを割り当てるサーバが無ければ、ライセンス プログラム製品で購入されている方はこのステップでライセンス有効化は終了になります。

(カ) Arcserve Backup ボックス製品の追加処理

ベース製品に追加するオプションやエージェントを保有している場合は、[5 <u>ライセンスの追加</u>] で 追加製品の登録を行ないます。Arcserve Backup ベース製品を プライマリ サーバ として導入され ている場合は、メンバ サーバ用のベース製品の登録も同様に [5 ライセンスの追加] で登録します。

(キ) Arcserve UDP コンソールと同居環境での追加処理

Arcserve Backup ベース製品と、Arcserve UDP コンソールを同じサーバに導入する場合は、[2.4 Arcserve UDP / Backup 同居サーバの追加処理] に進んでください。



2.3.3 Arcserve UDP Archiving でのライセンス反映

Arcserve UDP Archiving は自動的に製品側にライセンスを反映しますが、製品を利用するために、プロファイルへのライセンス割り当てが必要になります。

(ア) ドメインの作成 (未作成の場合)

スーパー管理者である "Super Admin" で Arcserve UDP Archiving にログイン後、画面左側の [ドメイン] からメールを取り込む対象ドメインを追加します。



(イ) プロファイルの作成 (未作成の場合)

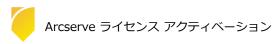
ドメインと Arcserve UDP Archiving の管理者に紐付けるプロファイルを、画面左側の [プロファイル] から追加します。



(ウ) 管理者の作成 (未作成の場合)

プロファイルを管理する管理者を、画面左側の [管理者] から追加します。







(工) アクティベーションとイセンス割り当て画面

右上のユーザ名をクリックし、[アクティベーションとライセンス]をクリックします。



(オ) アクティベーションしたライセンスの確認

Arcserve UDP Archiving ライセンスの合計購入数を確認します。反映されていない場合は、上にある [ライセンスの更新] をクリックします。



(カ) プロファイルへのライセンス割り当て

ライセンスを割り当てる "プロファイル名" をクリックします。



(キ) 割り当て数の指定

アクティベーションしたライセンスから、プロファイルに割り当てるライセンス数 (メールボックス数) を指定し、[保存] をクリックします。以上でライセンス有効化処理は終了になります。



2.4 Arcserve UDP / Backup 同居サーバの追加処理

「オンライン アクティベーション」の環境で、同じサーバに Arcserve UDP コンソール と Arcserve Backup ベース製品を導入する場合、どちらか片方の製品でアクティベーションを実施すると、残る一方の製品でも "アクティブ済み" になります。 "アクティブ済み" になっても、ライセンス キーの割り当てが行われていないため、残る一方の製品でライセンスの反映を行います。

2.4.1 Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition の場合

まず Arcserve UDP コンソール、もしくは Arcserve Backup ベース製品でアクティベーションを実施します。その後、もう一方の製品側でライセンス キー反映処理を実施します。

(ア) 1 つ目の製品の認証: オンライン アクティベーション

まだどちらの製品もアクティベーションを実施していない場合は、どちらか一方の製品で下記アクティベーションのステップをすべて実施してください。

- [2.1 各製品でのオンライン アクティベーションの実施]
- [2.2 ポータルでのライセンス割り当て]
- [2.3 製品へのライセンス キー反映]

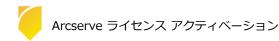
(イ) 2 つ目の製品の追加処理: オンライン アクティベーション

2つ目の製品でライセンス キーの反映処理を実施してください。

- 最初に Arcserve UDP でアクティベーションを行った場合 [2.3.2 Arcserve Backup でのライセンス反映] を実施します。
- 最初に Arcserve Backup でアクティベーションを行った場合 [2.3.1 Arcserve UDP でのライセンス反映] を実施します。

2.4.2 Arcserve UDP Tape Integration の場合

Arcserve UDP Advanced Edition 付随の Tape Integration 機能を利用する場合は、[2.4.1 Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition の場合] と同じ処理を実施してください。



2.4.3 Arcserve UDP Appliance の場合

Tape Integration 機能を利用する場合は、[2.4.1 <u>Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition</u> の場合] と同じ処理を実施してください。

2.4.4 Arcserve UDP / Backup 単体製品 の組み合わせの場合

単体製品で Arcserve UDP Advanced Edition と Arcserve Backup を購入されている場合には、まず Arcserve UDP コンソール、もしくは Arcserve Backup ベース製品でアクティベーションを実施します。その後、ポータルでもう一方の製品を追加します。

(ア) 1 つ目の製品の認証: オンライン アクティベーション

まだどちらの製品もアクティベーションを実施していない場合は、どちらか一方の製品で下記アクティベーションのステップをすべて実施してください。

- [2.1 各製品でのオンライン アクティベーションの実施]
- [2.2 ポータルでのライセンス割り当て]
- [2.3 製品へのライセンス キー反映]

(イ) 2 つ目の製品の追加処理: Arcserve ライセンス ポータルへのログイン

下記 URL から Arcserve ライセンス ポータルにログインします。アカウントは、アクティベーションを実施したサーバで指定した電子メールアドレスを利用します。

https://www.arcserve-register.com/#/login

※ すでにライセンス プールに 2 つの製品のライセンスを割り当てている場合は、(ス)のステップに進み、製品キーの反映処理を行います。

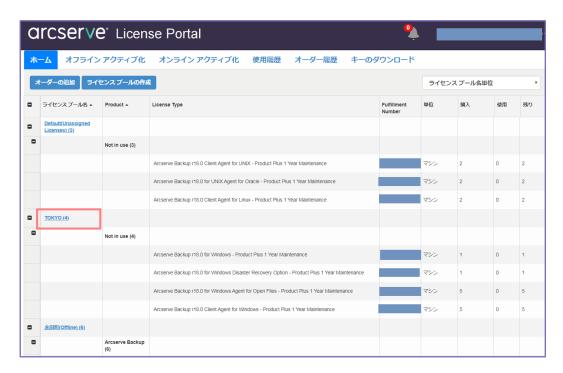


(ウ) 2つ目の製品の追加処理: ライセンス プールの選択

[ホーム] で、1 つ目の製品のアクティベーションで指定したライセンス プールをクリックします。

※ 同じサーバに導入する Arcserve UDP と Arcserve Backup とで、異なる Order ID/Fulfillment Number を持つ場合は、(キ) のステップに進みます。

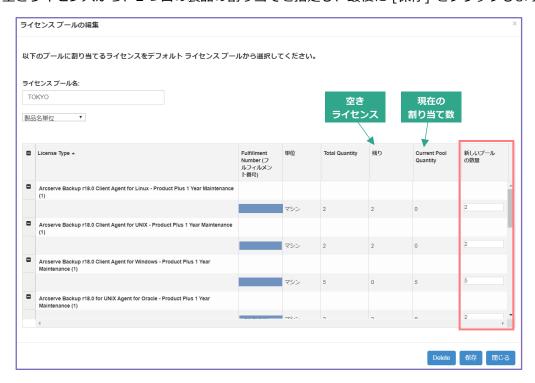




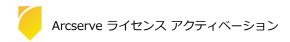
ライセンスプール に "Default(Unassigned Licenses)" が無い場合は、追加できるライセンスが無いため、[7.3 <u>ライセンスの割当て変更</u>] を参照し、他のサーバに割り当てているライセンスから使用していないライセンスを解放してください。

(工) 2つ目の製品の追加処理:プールへの割り当て数の設定

空きライセンスから、2つ目の製品の割り当てを指定し、最後に[保存]をクリックします。



(オ) 2つ目の製品の追加処理: 更新の確認



下記メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。



(カ) 2つ目の製品の追加処理: プールへの割当ての確認

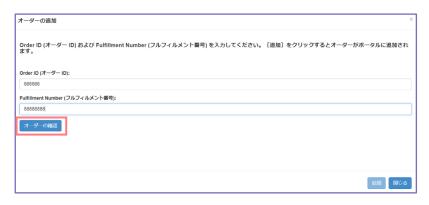
ライセンス プールに割り当てている製品と本数を確認します。次に (<u>ス</u>) のステップに進み、製品キーの反映処理を行います。

(キ) 2つ目の製品の追加処理 (異なる Order ID): オーダーの追加選択

同じサーバに導入する Arcserve UDP と Arcserve Backup が異なる Order ID/Fulfillment Number を持つ場合は、ポータルの [ホーム] で [オーダーの追加] をクリックします。



(ク) 2 つ目の製品の追加処理 (異なる Order ID): Order ID と Fulfillment Number の入力 追加用の Order ID と Fulfillment Number を入力し、[オーダーの確認] をクリックします。



(ケ) 2 つ目の製品の追加処理 (異なる Order ID): ライセンス プールの選択

1つ目の製品のアクティベーションで指定したライセンスプールを選択し、[追加] をクリックします。(アクティベーション時にライセンス プール名を指定していない場合、ホスト名がライセンス プール名になっています)





オーダーの追加	×
Order ID (オーダー ID) および Fulfillment Number (フルフィルメント番号) を入力してください。[追加]をクリックするとオーダーがボータルに追加 ます。	iżn
Order ID (オーダー ID):	
Fulfillment Number (フルフィルメント番号):	
オーダーは、どのライセンス ブールでも共有されていません。	
OrderID および FulfillmentNumber を割り当てるライセンス プールを選択します:	
ライセンスの追加先: 既存のライセンス ブール・	
ライセンスブール名: TOKYO-BKSV01 ・	
2230	まじる

(コ) 2 つ目の製品の追加処理 (異なる Order ID): 更新の確認

更新が完了すると、下記ダイアボックスが表示されます。[OK] をクリックします。

"Your order has been added to the Arcserve Portal. You can view all of your licenses in the Products section and review a history of your orders on the Order History tab."

オーダーは Arcserve ポータルに追加しました。[ホーム] タブの製品リストからすべてのライセンスを確認できます。また [オーダー履歴] タブで注文履歴を確認できます。



(サ) 2 つ目の製品の追加処理 (異なる Order ID): ボックス製品の追加処理

2 つ目の製品となる Arcserve UDP や Arcserve Backup をボックスで購入され、追加するオプションやエージェントがある場合には、前ステップにある (キ) から (コ) を繰り返し、追加登録するすべての Order ID / Fulfillment Number を同じライセンス プールに追加します。

(シ) 2つ目の製品の追加処理:プールへの割当ての確認

[ホーム] 画面で対象のライセンス プールに割り当てている製品と本数を確認します。

- (ス) 2つ目の製品の追加処理:キーの反映処理
 - 2つ目の製品でライセンス キーの反映処理を実施してください。
 - 最初に Arcserve UDP でアクティベーションを行った場合 [2.3.2 Arcserve Backup でのライセンス反映] を実施します。
 - 最初に Arcserve Backup でアクティベーションを行った場合 [2.3.1 Arcserve UDP でのライセンス反映] を実施します。

CICSETVE® 2024/7/8 Rev:1.3

3 オフライン アクティベーション

「オフライン アクティベーション」はインターネットに接続できない環境で実施します。アクティベーションは各製品で実施し、アクティベーションで作成されたファイルをライセンス ポータルにアップロードします。 その後、ライセンスを割り当てたファイルをポータルからダウンロードし、製品側にコピーして反映させます

3.1 各製品でのオフライン アクティベーションの実施

アクティベーション処理は、各製品のヘルプ メニューからライセンス登録画面を開き、実施します。

- Arcserve UDP
- Arcserve Backup
- Arcserve UDP Archiving

3.1.1 Arcserve UDP コンソールでのアクティベーション

Arcserve UDP でアクティベーションが必要な環境は、バックアップ対象のサーバやクライアント、Office365、共有フォルダを管理している Arcserve UDP コンソールです。リモート管理のコンソールの場合は、バックアップ対象を持たない限り、アクティベーション作業そのものが不要です。

※ インターネット接続が可能な環境で「オフライン アクティベーション」を実行するには、事前に下記ファイルを編集します。

パス: C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\

対象ファイル: EntitlementRegister Windows.properties

編集方法: 対象ファイルをメモ帳で開き、SERVERNAME 行を編集し、最後に保存します。

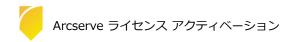
SERVERNAME=www.arcserve-register.com

SERVERNAME=www.dummy-arcserve-register.com

(ア) アクティベーション画面

Arcserve UDP コンソール画面にログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [アクティベーションとライセンス] をクリックします。







(イ) アクティベーションの実施

受信可能な電子メールアドレスと、Order ID、Fulfillment Number を入力し、左下の [アクティブ化] をクリックします。



- ※ 1 つ目のチェック ボックス: Arcserve の製品向上プログラムへの登録は任意ですが、2 つ目のチェック ボックス: マシン固有データの収集は必須になります。
- ※ ライセンス プログラム証書に、複数サーバに割り当てるライセンスが記載されている場合は、すべてのサーバで同じ Order ID と Fulfillment Number を利用します。 (ライセンス プログラム証書に掲載される Order ID と Fulfillment Number は 1 セットです)
- ※ ボックス製品の場合は、ボックス内にある Order ID と Fulfillment Number を使用します。2 つ目以降のボックス製品のアクティベーションは [5 ライセンスの追加] を参照してください。

(ウ) インターネット接続環境の確認

アクティベーションサイトへのアクセスができないため、インターネットやポート (443) への接続確認が入ります。オフラインで登録処理を継続するため、[保存] をクリックします。





(工) アクティベーション用ファイルのコピー

オフラインで登録するためのファイル (offline.arc) が作成されます。画面の内容を確認し、下記フォルダからインターネットに接続できるサーバやクライアント PC に offline.arc ファイルをコピーします。

保存先:

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\



[3.2 ポータルでのライセンス割り当て] に進みます。

- ※ Arcserve UDP のバックアップ データをテープにコピーする場合は、付随の Tape Integration 用のライセンスを Arcserve Backup 側に登録します。(Arcserve UDP で利用した Order ID、Fulfillment Number を利用します) Arcserve UDP コンソールと Arcserve Backup ベース製品を同一サーバに導入している場合は、1回のアクティベーションで両製品とも認証されます。
- ※ Arcserve UDP コンソール環境のアクティベーションが終わった後に、Tape Integration 用のArcserve Backup を同じサーバに導入する場合は、Arcserve Backup の導入後に [3.2.2 Arcserve Backup でのライセンス反映] のみ実施してください。

3.1.2 Arcserve Backup でのアクティベーション

Arcserve Backup ではバックアップ サーバとなるベース製品 (プライマリ サーバ/スタンドアロン サーバ) を導入しているサーバでアクティベーションを実施します。

※ インターネット接続が可能な環境で「オフライン アクティベーション」を実行するには、事前に下記ファイルを編集します。

パス: C:\Program Files (x86)\CA\ARCserve Backup\

対象ファイル: EntitlementRegister_Windows.properties

編集方法:対象ファイルをメモ帳で開き、SERVERNAME 行を編集し、最後に保存します。



SERVERNAME=www.arcserve-register.com

SERVERNAME=www.dummy-arcserve-register.com

(ア) アクティベーション画面

Arcserve Backup マネージャ画面を開き、[ヘルプ] から [Arcserve 製品のアクティブ化 (A)] をクリックします。



(イ) アクティベーションの実施

受信可能な電子メールアドレスと、Order ID、Fulfillment Number を入力し、左下の [アクティブ化] をクリックします。



- ※ 1 つ目のチェック ボックス: Arcserve の製品向上プログラムへの登録は任意ですが、2 つ目のチェック ボックス: マシン固有データの収集は必須になります。
- ※ ライセンス プログラム証書に、複数サーバに割り当てるライセンスが記載されている場合は、すべてのサーバで同じ Order ID と Fulfillment Number を利用します。 (ライセンス プログラム 証書に掲載される Order ID と Fulfillment Number は 1 セットです)
- ※ ボックス製品の場合は、ボックス内にある Arcserve Backup ベース製品用の Order ID と Fulfillment Number を使用します。オプションやエージェント製品の登録は [5 <u>ライセンスの追</u>加] を参照してください。

(ウ) インターネット接続環境の確認

アクティベーションサイトへのアクセスができないため、インターネットやポート (443) への接続





確認が入ります。オフラインで登録処理を継続するため、[保存] をクリックします。

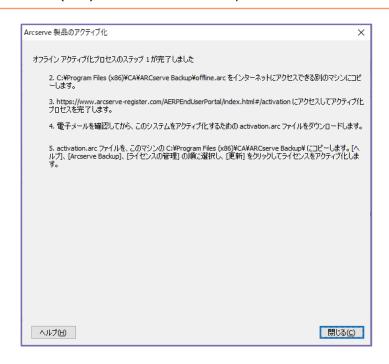


(工) アクティベーション用ファイルのコピー

オフラインで登録するためのファイル (offline.arc) が作成されます。画面の内容を確認し、下記フォルダからインターネットに接続できるサーバやクライアント PC に offline.arc ファイルをコピーします。

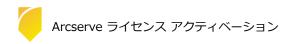
保存先:

C:\Program Files (x86)\CA\ARCserve Backup\



[3.2 ポータルでのライセンス割り当て] に進みます。

3.1.3 Arcserve UDP Archiving でのアクティベーション





Arcserve UDP Archiving では、仮想アプライアンスでアクティベーションを実施しますが、操作はWindows クライアントなどの Web ブラウザ経由で実施します。

(ア) アクティベーション画面

スーパー管理者である "Super Admin" で Arcserve UDP Archiving にログイン後、右上のユーザ名をクリックし、「アクティベーションとライセンス」をクリックします。



(イ) アクティベーションの実施

[製品アクティベーション] タブ側に受信可能な電子メールアドレスと、Order ID、Fulfillment Number を入力し、 [アクティブ化] をクリックします。

※ 1 つ目のチェック ボックス: Arcserve の製品向上プログラムへの登録は任意ですが、2 つ目のチェック ボックス: マシン固有データの収集は必須になります。



(ウ) インターネット接続環境の確認

アクティベーションサイトへのアクセスができないため、インターネットやポート (443) への接続確認が入ります。オフラインで登録処理を継続するため、「保存」をクリックします。



(工) アクティベーション用ファイルのコピー

オフラインで登録するためのファイル (offline.arc) が作成されます。画面の内容を確認し、Linux (Debian) からファイル取り出しが可能なツールにて、Arcserve UDP Archiving から offline.arc ファイルを取り出します。

保存先: /var/fas/www/Offline/



[3.2 ポータルでのライセンス割り当て] に進みます。

3.2 ポータルでのライセンス割り当て

「オフライン アクティベーション」では、購入されたライセンスをすべて割り当てる場合でも、一部のライセンスを割り当てる場合でも、それぞれのサーバに割り当てるライセンス数を指定します。ライセンスの割り当ては製品ごとに実施するため、アクティベーションを実施中の製品のみ割り当てます。

※ Arcserve UDP Archiving では、全ライセンスを 1 台のサーバに割り当てます。 (Arcserve UDP Archiving は製品機能の中でライセンスの割り振りを実施します)

3.2.1 ファイルのアップロード

「オフラインアクティベーション」の実施で作成された、offline.arc ファイルを Arcserve ライセンス





ポータルにアップロードします。

<各製品の offline.arc の格納先>

- Arcserve UDP
 C:\(\frac{4}{2}\)Program Files\(\frac{4}{2}\)Arcserve\(\frac{4}{2}\)Unified Data Protection\(\frac{4}{2}\)Management\(\frac{4}{2}\)Configuration\(\frac{4}{2}\)
- Arcserve Backup
 C:\(\frac{2}{2}\)Program Files (\(\cdot{x86}\)\(\frac{2}{2}\)CA\(\frac{2}{2}\)ARCserve Backup\(\frac{2}{2}\)
- Arcserve UDP Archiving /var/fas/www/Offline/

(ア) ファイル アップロード用のライセンス ポータル サイトにアクセス

インターネットに接続できる環境でブラウザを開き、下記 URL のサイトにアクセスします。 https://www.arcserve-register.com/#/activation



注: 下の画面のように表示が崩れる場合は、1 分ほど待ってからブラウザのリロード (更新) ボタンをクリックしてください。



(イ) ファイルをアップロード

コピーした offline.arc ファイルを黄色の枠内 にドロップ (移動) します。(枠内にファイルを ドロップすると、色が黄色から緑に変わります)



ドロップが完了すると、[アップロード] ボタンが表示されるので、クリックします。



アップロードが完了すると、"登録が正常に完了しました" というメッセージ ボックスが表示されますが、「オフラインアクティベーション」では Arcserve ライセンス ポータル からライセンスの割り当てが必要になります。電子メールを確認し、この後の [3.2.2 ポータルへのアカウント設定とライセンス割り当て] に進みます



3.2.2 ポータルへのアカウント設定とライセンス割り当て

受信した電子メールから Arcserve ライセンスポータルにアクセスし、ポータルのアカウント設定と各サーバに割り当てるライセンス数を定義します。

(ア) メール受信の確認

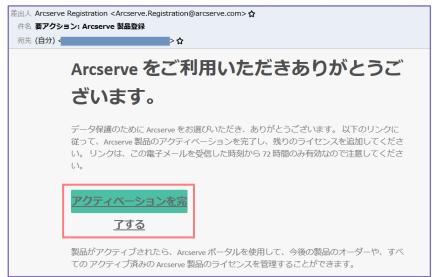
メッセージ ボックスの表示から、通常 1 時間以内に電子メールが届きます。電子メールを開き、ライセンス割り当てに進みます。

件名: 要アクション: Arcserve 製品登録

差出人: Arcserve Registration < Arcserve. Registration@arcserve.com>

(イ) 受信メールからポータルへのアクセス

受信したメールを開き、[アクティベーションを完了する]をクリックします。

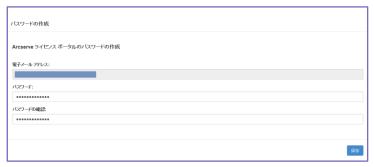




※リンクの有効期限(72 時間)を超えている場合でも、[アクティベーションを完了する] をクリック します。この場合、有効期限経過の画面となり、再度 72 時間有効の電子メールが届きます。

(ウ) Arcserve ライセンス ポータルへのパスワード設定

ライセンスを割り当ては Arcserve ライセンス ポータルで行ないますが、まずはログオンするためのパスワードを指定し、[保存] をクリックします。



※ パスワードの設定を行なわずにブラウザ画面を閉じてしまった場合は、後続処理のファイルのダウンロードができなくなるため、[3.2.1 ファイルのアップロード] からやり直してください。

(工) ブールの作成と割り当てるライセンス数の指定

Arcserve ライセンス ポータルでライセンスを有効化するには、ライセンスを割り当てるプール名と ライセンス数を指定します。割り当てを行なわない製品には "0" を入力します。("Enter Number" が無い状態にします。製品が多い場合にはスクロールで一番下までチェックしてください)

最後に [保存] をクリックしてプールを作成します。



ライセンス プールの作成が終了すると、"License Pool created successfully" ライセンスプールの作成が成功しました。というダイアログが表示します。製品側にコピーするファイルを入手するため、次の [3.2.3 ファイルのダウンロード] に進みます。



※ プールの作成を行なわずにブラウザ画面を閉じてしまった場合や、進めなくなってしまった場合には、後続処理のファイルのダウンロードができなくなるため、[3.2.1 ファイルのアップロー





ド] からやり直してください。

3.2.3 ファイルのダウンロード

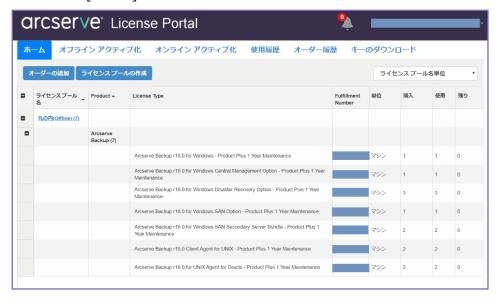
ライセンス キーの反映に使用する activation.arc ファイルを、Arcserve ライセンス ポータルからダウンロードします。

(ア) ライセンス ポータルにログイン

ライセンス プールの作成が終了すると、Arcserve ライセンス ポータルのログイン画面に切り替わります。アクティベーションで指定した電子メール アカウントと、作成したパスワードでログインします。



ログインすると、[ホーム] 画面に作成したライセンス プールの情報がロードされます。



(イ) [オフライン アクティブ化] にアクセス

[オフラインアクティブ化] をクリックします。

データが更新され、アクティベーションを実施したサーバや適用ライセンスが出てきます。内容を確認し、[ダウンロード] をクリックします。(対象サーバが複数ある場合は、左側にチェックマークが付くように、該当サーバをクリックしてから [ダウンロード] をクリックします)





(ウ) ファイルのコピー

ダウンロード完了のメッセージが表示されたら [OK] をクリックし、ダウンロードされた activation.arc ファイルを取り出します。次ぎに [3.3 製品へのライセンス キー反映] に進みます。

■ Arcserve UDP や Arcserve Backup の場合:



■ Arcserve UDP Archiving の場合:

```
activation.arc ファイルは正常にダウンロードされました。

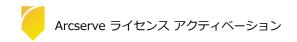
Arcserve UDP アーカイブのアクティベーション プロセスを完了するには、以下に記載の手順に従います。

Arcserve UDP アーカイブ
- activation.arc ファイルを Nar/fas/www/Offline にコピーします。
- activation.arc ファイルを コピーした後、スーパー管理者 Arcserve UDP アーカイブ コンソールで、[アクティベーションとライセンス] を選択し、更新 [ライセンス管理] タブでクリックして、アクティブ化するライセンスを表示します。
```

3.3 製品へのライセンス キー反映

Arcserve ライセンスポータルでダウンロードしたファイルを各製品にコピーし、ライセンス キーを反映させます。

- Arcserve UDP
- Arcserve Backup
- Arcserve UDP Archiving



3.3.1 Arcserve UDP コンソールでのライセンス反映

(ア) activation.arc のコピー

Arcserve ライセンスポータルからダウンロードした activation.arc ファイルを、下記フォルダにコピーします。

コピー先:

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\

(イ) アクティベーションとライセンス

Arcserve UDP コンソール画面にログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [アクティベーションとライセンス] をクリックします。



(ウ) ライセンス管理画面

画画面上部にある [ライセンス管理] をクリックします。(Arcserve UDP コンソールでは、電子メール アドレスや Order ID、Fulfillment Number が表示されている画面が出てきますが、次の(エ)のステップを実行すると、電子メールアドレスのみの表示画面になります)



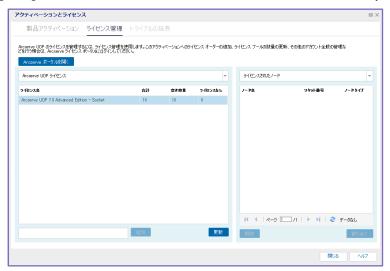
(工) ライセンス反映

[更新] をクリックします。





Arcserve ライセンス ポータルで割り当てたライセンスが、画面左側にある [ライセンス名] に追加されます。(「更新] をクリックしなくても、反映されている場合もあります)



他にライセンスを割り当てるサーバが無ければ、ライセンス プログラム製品で購入されている方はこのステップでライセンス有効化は終了になります。

(オ) Arcserve UDP ボックス製品の追加処理

Arcserve UDP をボックス製品で購入されている場合に、1 台の UDP コンソールに複数のエージェント製品を登録するには、2 つ目以降の製品で [5 ライセンスの追加] を実行してください。

(力) Arcserve Backup ベース製品と同居環境での追加処理

Arcserve UDP コンソールと、Arcserve Backup ベース製品を同じサーバに導入する場合は、[3.4 Arcserve UDP / Backup 同居サーバの追加処理] を実行してください。

3.3.2 Arcserve Backup でのライセンス反映

(ア) activation.arc のコピー

Arcserve ライセンスポータルからダウンロードした activation.arc ファイルを、下記フォルダにコ



CICSEIVE® 2024/7/8 Rev:1.3

ピーします。

コピー先:

C:\Program Files (x86)\PCA\PARCserve Backup\P

(イ) バージョン情報

Arcserve Backup マネージャ画面の $[^{\sim}$ ルプ] メニュー一番下の $[^{\sim}$ バージョン情報(A)...] をクリックします。



(ウ) ライセンス反映前の確認と反映画面の呼び出し

画面上の"現在、この製品はライセンスされていません。"を確認し、[ライセンスの管理(M)...] をクリックします。



(工) ライセンス ポータルからライセンスをダウンロード

[更新] をクリックし、次に [OK] をクリックして画面を閉じます。(バックアップ処理を行なっていない場合、[更新] をクリックしても画面上何も変わりませんが、キーは反映されています)



(オ) ライセンスの反映確認

ダウンロードしたライセンスを確認するため、[ライセンスの追加/表示(L)...] をクリックします。





Arcserve License ポータルで割り当てた製品が [インストール タイプ] で "ライセンス取得済み" と表示されます。[続行(T)] をクリックします。



(カ) ライセンス保有の確認

画面上の表示が"ライセンスされています。"に変わったことを確認し、画面を閉じます。



割り当たっているライセンス数を確認する場合は、OSのエクスプローラからライセンス モジュールを呼び出し、製品とライセンス本数を確認してください。

C:\Program Files (x86)\Program Files (x86)\Pro



他にライセンスを割り当てるサーバが無ければ、ライセンス プログラム製品で購入されている方は このステップでライセンス有効化は終了になります。

(キ) Arcserve Backup ボックス製品の追加処理

ベース製品に追加するオプションやエージェントを保有している場合は、[5 <u>ライセンスの追加</u>] で 追加製品の登録を行ないます。Arcserve Backup ベース製品を プライマリ サーバ として導入され ている場合は、メンバ サーバ用のベース製品の登録も同様に [5 ライセンスの追加] で登録します。



(ク) Arcserve UDP コンソールと同居環境での追加処理

Arcserve Backup ベース製品と、Arcserve UDP コンソールを同じサーバに導入する場合は、[3.4 Arcserve UDP / Backup 同居サーバの追加処理] を実行してください。

3.3.3 Arcserve UDP Archiving でのライセンス反映

Arcserve UDP Archiving は、ライセンスの反映とプロファイルへの割り当て処理が必要になります。

(ア) activation.arc のコピー

Arcserve ライセンスポータルからダウンロードした activation.arc ファイルを、コピーや転送が可能なツールを使って下記ディレクトリにコピーします。

コピー先:

/var/fas/www/Offline/

(イ) ドメインの作成 (未作成の場合)

スーパー管理者である "Super Admin" で Arcserve UDP Archiving にログイン後、画面左側の [ドメイン] からメールを取り込む対象ドメインを追加します。



(ウ) プロファイルの作成 (未作成の場合)

ドメインと Arcserve UDP Archiving の管理者を紐付けるプロファイルを、画面左側の [プロファイル] から追加します。



(工) 管理者の作成 (未作成の場合)

プロファイルを管理する管理者を、画面左側の [管理者] から追加します。



(オ) アクティベーションとイセンス割り当て画面

右上のユーザ名をクリックし、[アクティベーションとライセンス]をクリックします。



(カ) ライセンス管理

[ライセンス管理] をクリックします。



(キ)アクティベーションしたライセンスの反映

Arcserve UDP Archiving ライセンスを反映するため、[ライセンスの更新] をクリックします。





ライセンスの反映を確認します。



(ク) プロファイルへのライセンス割り当て

ライセンスを割り当てる "プロファイル名" をクリックします。



(ケ) 割り当て数の指定

アクティベーションしたライセンスから、プロファイルに割り当てるライセンス数 (メールボックス





数)を指定し、[保存]をクリックします。以上でライセンス有効化処理は終了になります。

3.4 Arcserve UDP / Backup 同居サーバの追加処理

Arcserve UDP コンソールと、Arcserve Backup ベース製品を同居する環境で「オフライン アクティベーション」を実施するには、製品のアクティベーション順序によって手順が変わります。

- ※ どちらの製品もアクティベーションを実施していない場合は、先に Arcserve UDP でアクティベーションを実施し、[3.4.1 Arcserve UDP を先にアクティベーションしている場合] に進んでください。
 - Arcserve UDP を先にアクティベーションしている場合
 - Arcserve Backup を先にアクティベーションしている場合

3.4.1 Arcserve UDP を先にアクティベーションしている場合

すでに Arcserve UDP コンソールをアクティベーション済みの場合は、Arcserve Backup 側へのライセンス追加/反映処理を実施します。

(ア) EntitlementRegister_Windows.properties ファイルのコピー

Arcserve UDP 側のパスにあるアクティベーション用設定ファイルの

"EntitlementRegister_Windows.properties" を Arcserve Backup 側のパスにコピーします。 (EntitlementRegister_Windows.properties.bak ファイルのコピーは不要です)

コピー元: C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\Unified Data Protection\Management\Configuration\Unified Data Protection\Management\Configuration\Unified Data Protection\Management\Configuration\Unified Data Protection\Unified Data Pro

Arcserve UDP Advanced Edition の Tape Integration を利用する場合や、Arcserve UDP Appliance を購入されている場合、もしくは Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition の場合には、後続 (テ) のステップに進みます。

(イ) Arcserve ライセンス ポータルにログイン

単体製品で Arcserve UDP Advanced Edition と Arcserve Backup を購入されている場合は、Arcserve UDP コンソールのアクティベーション時に指定した "ライセンス プール" に Arcserve





Backup のライセンスも割り当てます。

下記 URL から Arcserve ライセンス ポータルにログインしてください。アカウントは、Arcserve UDP のアクティベーションで指定した電子メールアドレスになります。

https://www.arcserve-register.com/#/login

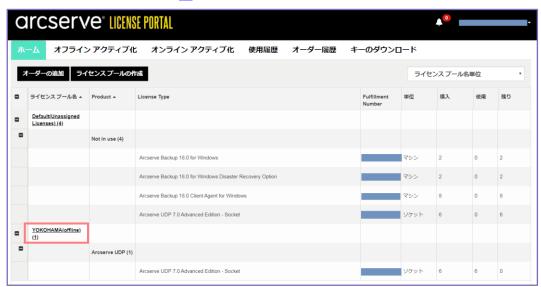
※ すでにライセンス プールに 2 つの製品のライセンスを割り当てている場合は、後続 (ス)のステップに進み、ファイルのダウンロードを行います。



(ウ) ライセンス プールの選択

[ホーム] で、Arcserve UDP で指定したライセンス プールをクリックします。

※ 同じサーバに導入する Arcserve UDP と Arcserve Backup とで、異なる Order ID/Fulfillment Number を持つ場合は、(キ) のステップに進みます。

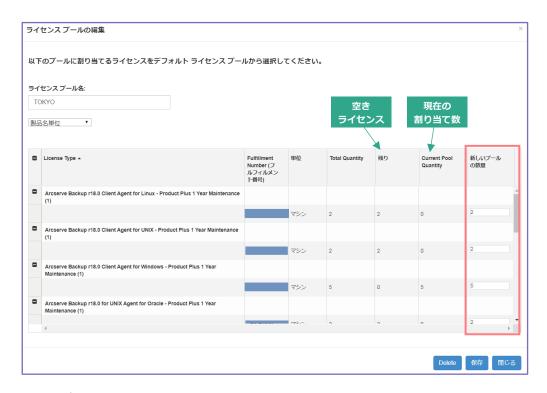


ライセンスプール に "Default(Unassigned Licenses)" が無い場合は、追加できるライセンスが無いため、[7.3 <u>ライセンスの割当て変更</u>] を参照し、他のサーバに割り当てている Arcserve Backupのライセンスから使用していないライセンスを解放してください。

(工) プールへの割り当て数の設定

空きライセンスから、Arcserve Backupの割り当てを指定し、最後に [保存] をクリックします。





(オ) 更新の確認

下記メッセージが表示されたら、[OK] を クリックします。



(カ) プールへの割当ての確認

ライセンス プールに割り当てている製品と本数を確認します。次に (<u>ス</u>) のステップに進み、ファイルのダウンロードを行います。

(キ) 異なる Order ID を追加する場合: オーダーの追加選択

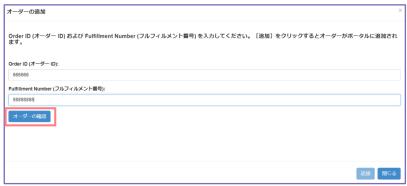
同じサーバに導入する Arcserve UDP と Arcserve Backup が異なる Order ID/Fulfillment Number を持つ場合は、ポータルの [ホーム] で [オーダーの追加] をクリックします。





(ク) 異なる Order ID を追加する場合: Order ID と Fulfillment Number の入力

Arcserve Backup 用の Order ID と Fulfillment Number を入力し、[オーダーの確認] をクリックします。



(ケ) 異なる Order ID を追加する場合: ライセンス プールの選択

Arcserve UDP で指定したライセンスプールを選択し、[追加] をクリックします。(アクティベーション時にライセンス プール名を指定していない場合、ホスト名がライセンス プール名になっています)



(コ) 異なる Order ID を追加する場合: 更新の確認

更新が完了すると、下記ダイアボックスが表示されます。[OK] をクリックします。

"Your order has been added to the Arcserve Portal. You can view all of your licenses in the Products section and review a history of your orders on the Order History tab."

オーダーは Arcserve ポータルに追加しました。[ホーム] タブの製品リストからすべてのライセンスを確認できます。また [オーダー履歴] タブで注文履歴を確認できます。





(サ) 異なる Order ID を追加する場合: ボックス製品の追加処理

Arcserve Backup をボックスで購入され、追加するオプションやエージェントがある場合には、前ステップにある (キ) から (コ) を繰り返し、追加登録するすべての Order ID / Fulfillment Number を同じライセンス プールに追加します。

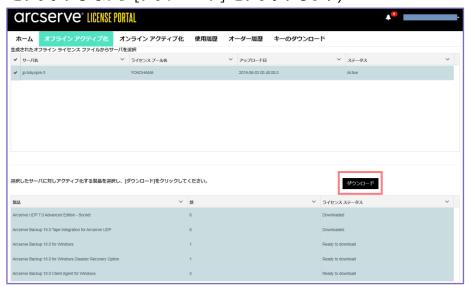
(シ) 異なる Order ID を追加する場合: プールへの割当ての確認

[ホーム] 画面で対象のライセンス プールに割り当てている製品と本数を確認します。

(ス) ファイルのダウンロード

ポータルの画面で [オフラインアクティブ化] をクリックします。

データが更新され、追加割り当てを実施したライセンスが出てきます。内容を確認し、[ダウンロード] をクリックします。(対象サーバが複数ある場合は、左側にチェックマークが付くように、該当サーバをクリックしてから [ダウンロード] をクリックします)



(セ) ファイルの取り出し

ダウンロード完了のメッセージが表示されたら [OK] をクリックし、ダウンロードされた activation.arc ファイルを取り出します。



(ソ) ファイルのコピー

activation.arc を Arcserve UDP コンソールの下記フォルダに上書きコピーします。(注: Arcserve Backup のフォルダではありません)

コピー先: C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\





(タ) Arcserve UDP コンソールのアクティベーション画面

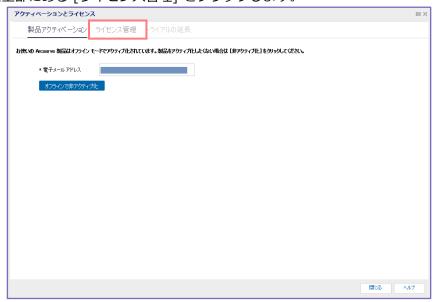
Arcserve UDP コンソール画面にログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [アクティベーションとライセンス] をクリックします。(注: オフライン アクティベーション」の同居環境の場合、

Arcserve UDP からライセンス反映を実施します)



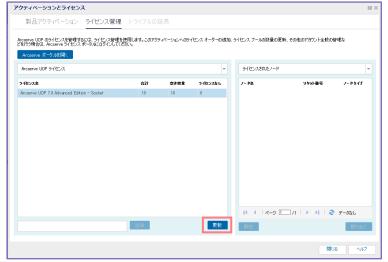
(チ) Arcserve UDP のライセンス管理画面

画画面上部にある [ライセンス管理] をクリックします。



(ツ) ライセンス反映

[ライセンス管理画面] が開くと、ロード中となります。この段階でコピーした activation.arc からライセンスを反映している場合もありますが、 [更新] をクリックしてから画面を閉じてください。





(テ) Arcserve Backup 側でのライセンス反映の確認

Arcserve Backup マネージャ画面の [へルプ] メニュー一番下の [バージョン情報(A)...] をクリックします。



(ト) ライセンスの反映確認

画面上の表示が"ライセンスされています。"になっていることを確認します。さらにダウンロードしたライセンスを確認するため、[ライセンスの追加/表示(L)...]をクリックします。



Arcserve License ポータルで割り当てた製品が [インストール タイプ] で "ライセンス取得済み" と表示されます。[続行(T)] をクリックし、画面を閉じます。

(Arcserve UDP / Premium Plus Edition の場合は、ほぼすべての製品が"ライセンス取得済み"となります)



(ナ) ライセンス反映

割り当たっているライセンス数を確認する場合は、OSのエクスプローラからライセンス モジュールを呼び出し、製品とライセンス本数を確認してください。

C:\Program Files (x86)\Program Files (x86)\Pro

このステップでライセンス有効化は終了になります。

なお、Arcserve Backup の [ライセンスの管理] 画面で [更新] ボタンをクリックするとエラー ボックスが出ますが、制限事項となります。今後 Arcserve UDP や Arcserve Backup でライセンスを追加する場合も、すべて Arcserve UDP 側で [更新] をクリックしてください。



3.4.2 Arcserve Backup を先にアクティベーションしている場合

すでに Arcserve Backup をアクティベーション済みの場合は、Arcserve UDP 側へのライセンス追加/反映処理を実施します。

(ア) EntitlementRegister_Windows.properties ファイルのコピー

Arcserve Backup 側のパスにあるアクティベーション用設定ファイルの "EntitlementRegister_Windows.properties" を Arcserve UDP 側のパスにコピーします。 (EntitlementRegister_Windows.properties.bak ファイルのコピーは不要です)

コピー元: C:\Program Files (x86)\CA\ARCserve Backup\

コピー先: C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\

(イ) EntitlementRegister_Windows.properties ファイルの編集

Arcserve UDP のパスにコピーした "EntitlementRegister_Windows.properties" を編集します。 メモ帳などで開き、下記の行をファイルの最後に追加して保存します。

ISOFFLINE_ACTIVATED =true
ISACTIVATED=true

Arcserve UDP Advanced Edition の Tape Integration を利用する場合や、Arcserve UDP Appliance を購入されている場合、もしくは Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition の場合には、後続 (チ) のステップに進みます。

(ウ) Arcserve ライセンス ポータルにログイン

単体製品で Arcserve UDP Advanced Edition と Arcserve Backup を購入されている場合は、Arcserve Backup のアクティベーション時に指定した "ライセンス プール" に Arcserve UDP のライセンスも割り当てます。

下記 URL から Arcserve ライセンス ポータルにログインしてください。アカウントは、Arcserve Backup のアクティベーションで指定した電子メールアドレスになります。

https://www.arcserve-register.com/#/login

※ すでにライセンス プールに 2 つの製品のライセンスを割り当てている場合は、後続 (セ) のステップに進み、ファイルのダウンロードを行います。



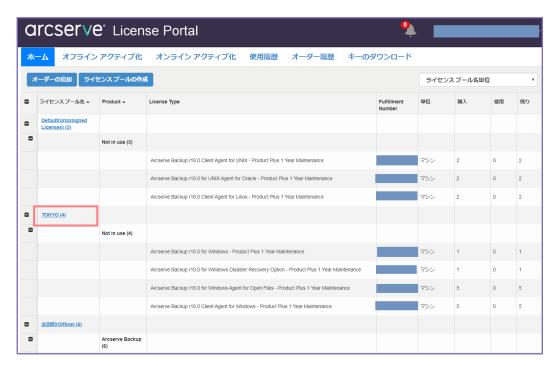
(工) ライセンス プールの選択

[ホーム] 画面で、Arcserve Backup で指定したライセンス プールをクリックします。

※ 同じサーバに導入する Arcserve UDP と Arcserve Backup とで、異なる Order ID/Fulfillment Number を持つ場合は、(ク) のステップに進みます。



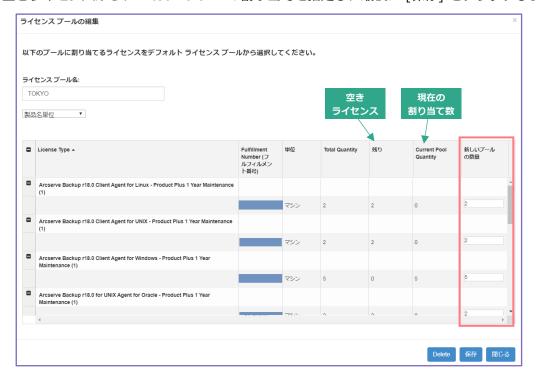




ライセンスプール に "Default(Unassigned Licenses)" が無い場合は、追加できるライセンスが無いため、[7.3 <u>ライセンスの割当て変更</u>] を参照し、他のサーバに割り当てている Arcserve UDP のライセンスから使用していないライセンスを解放してください。

(オ) プールへの割り当て数の設定

空きライセンスから、Arcserve UDPの割り当てを指定し、最後に[保存]をクリックします。



(力) 更新の確認

下記メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。





(キ) プールへの割当ての確認

ライセンス プールに割り当てている製品と本数を確認します。次に (\underline{v}) のステップに進み、ファイルのダウンロードを行います。

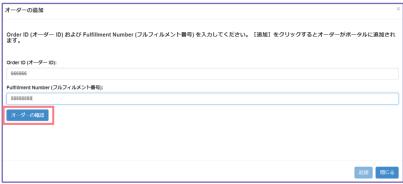
(ク) 異なる Order ID を追加する場合: オーダーの追加選択

同じサーバに導入する Arcserve UDP と Arcserve Backup が異なる Order ID/Fulfillment Number を持つ場合は、ポータルの [ホーム] で [オーダーの追加] をクリックします。



(ケ) 異なる Order ID を追加する場合: Order ID と Fulfillment Number の入力

Arcserve UDP 用の Order ID と Fulfillment Number を入力し、[オーダーの確認] をクリックします。



(コ) 異なる Order ID を追加する場合: ライセンス プールの選択

Arcserve Backup で指定したライセンスプールを選択し、[追加] をクリックします。(アクティベーション時にライセンス プール名を指定していない場合、ホスト名がライセンス プール名になっています)



オーダーの追加
Order ID (オーダー ID) および Fulfillment Number (フルフィルメント番号) を入力してください。 [追加] をクリックするとオーダーがボータルに追加されます。
Order ID (オーダー ID):
Fulfillment Number (フルフィルメント番号):
オーダーは、どのライセンスプールでも共有されていません。
OrderID および FulfillmentNumber を割り当てるライセンス ブールを選択します:
ライセンスの追加先: 既存のライセンス ブール・
ライセンスプール名: TOKYO-BKSV01 ・
xian ratus

(サ) 異なる Order ID を追加する場合: 更新の確認

更新が完了すると、下記ダイアボックスが表示されます。[OK] をクリックします。

"Your order has been added to the Arcserve Portal. You can view all of your licenses in the Products section and review a history of your orders on the Order History tab."

オーダーは Arcserve ポータルに追加しました。[ホーム] タブの製品リストからすべてのライセンスを確認できます。また [オーダー履歴] タブで注文履歴を確認できます。



(シ) 異なる Order ID を追加する場合: ボックス製品の追加処理

Arcserve UDP をボックスで購入され、追加するエージェントがある場合には、前ステップにある (ク) から (サ) を繰り返し、追加登録するすべての Order ID / Fulfillment Number を同じライセンス プールに追加します。

(ス) 異なる Order ID を追加する場合: プールへの割当ての確認

[ホーム] 画面で対象のライセンス プールに割り当てている製品と本数を確認します。

(セ) ファイルのダウンロード

ポータルの画面で [オフラインアクティブ化] をクリックします。

データが更新され、追加割り当てを実施したライセンスが出てきます。内容を確認し、[ダウンロード] をクリックします。(対象サーバが複数ある場合は、左側にチェックマークが付くように、該当サーバをクリックしてから [ダウンロード] をクリックします)





(ソ) ファイルの取り出し

ダウンロード完了のメッセージが表示されたら [OK] をクリックし、ダウンロードされた activation.arc ファイルを取り出します。



(タ) ファイルのコピー

activation.arc を Arcserve UDP コンソールの下記フォルダにコピーします。

コピー先: C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\

(チ) Arcserve UDP コンソールのアクティベーション画面

Arcserve UDP コンソール画面にログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [アクティベーションとライセンス] をクリックします。

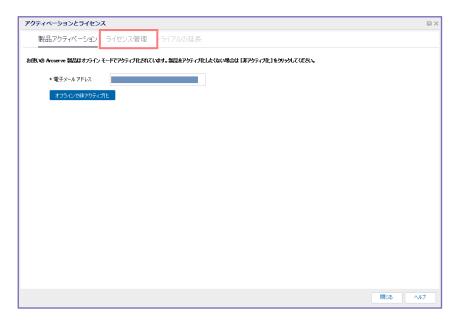


(ツ) Arcserve UDP のライセンス管理画面

画画面上部にある [ライセンス管理] をクリックします。

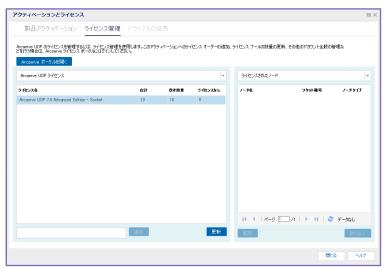






(テ) ライセンスの確認

ライセンスが反映されていることを確認します。(ライセンスが表示されない場合は、[更新] をクリックします)



(ト) ライセンス反映

割り当たっているライセンス数を確認する場合は、OSのエクスプローラからライセンス モジュールを呼び出し、製品とライセンス本数を確認してください。

C:\Program Files (x86)\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC\CALicnse.exe

このステップでライセンス有効化は終了になります。

4 製品キーの生成 (一部の Arcserve 製品のみ)

下記製品 (下記構成) を利用する場合は、Arcserve ライセンス ポータルからキーを発行します。

➤ Arcserve RHA 18.0 以降の製品

Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition はライセンスプログラム証書記載の製品キーを利用してください。

- Arcserve UDP 7.0 以降の製品で コンソール機能を利用しない環境
 - Windows エージェント を単体で利用している環境
 - Linux エージェント のみ利用している環境

4.1 製品キー生成の準備

はじめて Arcserve ライセンス ポータルを利用する場合は、ポータルにアカウントを作成します。すでに アカウントをお持ちの場合は、 $[4.1.2\ \pi-タルに\ Order\ ID\ /\ Fulfillment\ Number\ を追加]$ に進みます。

4.1.1 Arcserve ライセンス ポータルのアカウント作成

電子メールアドレスを使って、ポータルにアカウントを作成します。

(ア) ポータル サイトへのアクセス

下記 URL からポータル サイトにアクセスし、[新規作成] をクリックします。

https://www.arcserve-register.com/#/login



(イ) スタンドアロン エージェント / RHA の選択

下側のラジオボタン、 [UDP のスタンドアロン Windows/Linux エージェント および Arcserve RHA 用の登 録] を選択します。





(ウ) Arcserve ライセンス ポータル 用のアカウント作成

ポータル サイトへのログイン アカウントとなる 電子メールアドレスと、Order ID、Fulfillment Number を入力し、[登録] をクリックします。



"Do you want to proceed with registration for standalone agents and RHA?" スタンドアロン エージェント / RHA 用の登録を実行しますか? という確認用のダイアログが出てきます。
[Yes] をクリックします。

登録が完了し、入力した電子メールアドレスにポータル アクセス用の電子メールが届きます。



スタンドアロン エージェントおよび RHA 用の登録
登録が完了しました。 お客様宛てにアクティブ化の電子メールを送信しました。 この電子メールの中のリンクをクリックして、パスワードを設定してください。
ОК

(エ) パスワード登録

Arcserve.Registration@arcserve.com から "Web アクティベーション" のメールが届きます。メールを開き、[登録を完了する] をクリックします。







開いたブラウザ ページでパスワードを入力し、「保存」をクリックします。



(オ) ライセンス ポータルへのログオン

設定したパスワードで Arcserve ライセンス ポータルに ログオンします。ログオン後、 $[4.2\ \overline{)}$ ライセンス キーの 発行] へ進みます。



4.1.2 ポータルに Order ID / Fulfillment Number を追加

すでに Arcserve ライセンス ポータルにアカウントを持っている場合は、ポータルにログインし、 Order ID / Fulfillment Number を追加します。

(ア) ポータル サイトへのアクセス

下記 URL からポータル サイトにアクセスし、既存アカウントでポータルにログインします。 https://www.arcserve-register.com/#/login



(イ) オーダーの追加

[ホーム] 画面にある [オーダーの追加] をクリックします。





(ウ) Order ID / Fulfillment Number の追加

製品キーの生成に利用する Order ID と Fulfillment Number を入力し、[オーダーの確認] をクリックします。

※ 未使用の Order ID / Fulfillment Number のみ追加可能です。



(工) 指定した Order ID に Arcserve UDP や Arcserve Backup のライセンスが含まれる場合

[ライセンスの追加先] に既存のライセンス プール、もしくは新規のライセンス プールを指定し、[プール名] に割り当てる ライセンス プール名を指定します。 (ここでは新規のライセンス プールを作成し、割り当てます)

[追加] をクリックします。



メッセージを確認し、[OK] をクリックします。



ポータルのデータが更新されたら、[ホーム] 画面 で指定したライセンス プールの情報を確認します。

[4.2 ライセンス キーの発行] へ進みます。



(オ) 指定した Order ID が Arcserve RHA のみ含んでいる場合

Arcserve RHA のみが含まれる Order ID / Fulfillment Number の場合、ライセンス プールの機能を利用しないため、作成しません。

[追加] をクリックします。



"RHA order is added. You are redirected to the option Generate Keys to generate licenses." RHA のオーダーが追加されました。ライセンスを生成するため、キー生成オプションにリダイレクトされます。 という確認 用のダイアログが出てきます。



[OK] をクリックすると、[キーのダウンロード] 画面に切り替わります。

[4.2 ライセンス キーの発行] へ進みます。

4.2 ライセンス キーの発行

(ア) キーのダウンロード

Arcserve ライセンス ポータルで [キーのダウンロード] 画面にアクセスします。(4.1.2 の準備作業で Arcserve RHA のみが含まれた Order ID を追加した場合は、自動的に切り替わります)



(イ) Arcserve UDP エージェントのキー生成

下記3つをプルダウンリストから選択し、[キーの生成]をクリックします。



■ 製品: "UDP Agent for Windows" もしくは "UDP Agent for Linux" を指定

■ 製品バージョン: キーを生成する Arcserve UDP のバージョンを指定

■ 数: ライセンス数を指定



生成されたキーをコピーし、[4.3 製品側でのライセンス キーの登録] へ進みます。(一度生成されたキーはポータルからいつでも確認できます)



(ウ) Arcserve RHA のキー生成

下記2つをプルダウンリストから選択します。

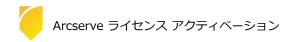
■ 製品: "Arcserve RHA 18.0"

■ RHA Orders: Arcserve RHA 18.0 のライセンスが含まれる Order ID を指定

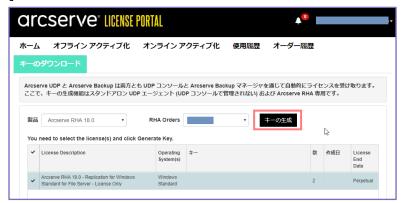


[キーの生成] をクリックできるようにするため、表示された Arcserve RHA のライセンスを選択します。 (左側のチェック マークが付くように選択してください)





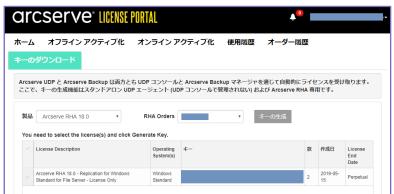
[キーの生成] をクリックします。



キーが生成されます。[閉じる] をクリックします。



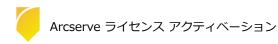
生成されたキーをコピーし、[4.3.3 <u>Arcserve RHA への登録</u>] へ進みます。(一度生成されたキーはポータルからいつでも確認できます)



4.3 製品側でのライセンス キーの登録

Arcserve ライセンス ポータルで発行したキーを各製品に登録します。

- Arcserve UDP Windows エージェント
- Arcserve UDP Linux エージェント
- Arcserve RHA



4.3.1 Arcserve UDP Windows エージェントへの登録

Arcserve UDP Windows エージェントにライセンスを登録するには、タスクトレイの UDP アイコン から登録する方法と、エクスプローラからライセンス登録画面を直接呼び出す方法の 2 種類があります。本ドキュメントは、エクスプローラからライセンス登録画面を呼び出す方法を記載します。

(ア) ライセンス登録画面の呼び出し

エージェントを導入しているマシンで Windows のエクスプローラを開き、下記フォルダにある CALicnse.exe を実行します。

C:\Program Files (x86)\Program Files (x86)\Pro



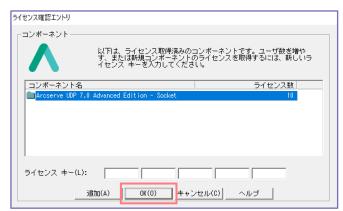
(イ) キーの入力

[ライセンス確認エントリ] 画面で、 Arcserve ライセンス ポータルで発行した Arcserve UDP Windows エージェントの キーを [ライセンスキー(L)] 欄に入力し、 [追加] をクリックします。



追加されたライセンスを確認し、最後に必ず [OK] をクリックします。

※ [OK] をクリックせずに [キャンセル] をクリックすると、追加したキーが反 映されないため、ライセンス キー無し の状態になります。[キャンセル] をク リックしてしまった場合は、(ア) の手 順からやり直してください。





(ウ) Arcserve UDP の Tape Integration ライセンスの登録

Arcserve UDP の復旧ポイント (バックアップ データ) をテープ装置に保管するには、Arcserve UDP のエージェントで利用した Order ID と Fulfillment Number を使い、Arcserve Backup でライセンス認証を行います。

テープ装置を繋げるサーバに Arcserve Backup ベース製品を導入し、「オンライン アクティベーション」(2.1.2)、もしくは「オフライン アクティベーション」(3.1.2) を実施します。

4.3.2 Arcserve UDP Linux エージェントへの登録

Arcserve UDP Linux エージェントへのライセンス登録は、エージェントを導入している Linux バックアップ サーバで実施します。

(ア) ライセンス管理画面

Arcserve Linux のバックアップ サーバにログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [ライセンスの管理...] をクリックします。



(イ) ライセンス管理画面

Arcserve ライセンス ポータルで発行した Arcserve UDP Linux エージェントのキーを [ライセンスキー(L)] 欄に入力し、[追加] をクリックします。



(ウ) ライセンスの確認





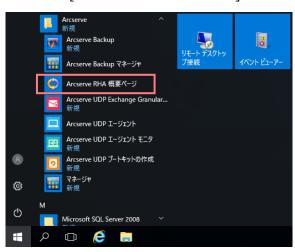
追加されたコンポーネントを確認し、[閉じる] をクリックします。

4.3.3 Arcserve RHA への登録

Arcserve RHA はコントロール サービスの画面から登録します。ライセンスの登録は ローカル ノードのほか、Web ブラウザ経由でリモート ノードからも実施できます。本ドキュメントは、ローカル ノードからの登録方法を記載します。

(ア) RHA の概要ページ起動

OS のスタート メニューから、[Arcserve RHA 概要ページ] を開きます。



(イ) ライセンス登録画面の起動

画面左側にある [シナリオ管理] をクリックします。





(ウ) キー入力のスキップ

すぐにキー入力の画面が出てきますが、この画面で登録すると会社名が "TRAIAL_USER" になります。この画面は一旦 [キャンセル] をクリックし、次のステップの [ヘルプ] メニューからキーを入力します。



(工) 製品キーの登録画面

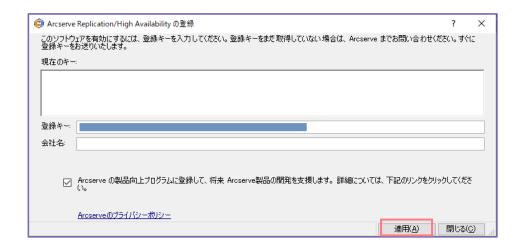
[Arcserve RHA マネージャ] 画面から [ヘルプ] メニューにある [登録 (R)...] をクリックします。



(オ) 製品キーの登録

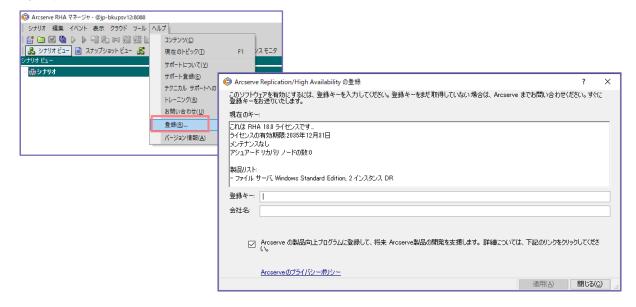
Arcserve ライセンス ポータルで発行した Arcserve RHA のキーを [登録キー] 欄に入力し、[適用] をクリックします。(Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition 付随の Arcserve RHA は ライセンスプログラム証書に製品キーの記載があります)





(カ) ライセンスの確認

入力したライセンスを確認するには、再度 [ヘルプ] メニューから [登録 (R)...] を呼び出して確認 します。



CICSEIVE® 2024/7/8 Rev:1.3

5 ライセンスの追加

アクティベーション実施済みのサーバや、ポータルで生成したキーを登録したサーバに追加購入されたライセンスを登録するには、Arcserve ライセンス ポータルに新たに発行された Order ID と Fulfillment Number を入力し、処理を開始します。

※ Order ID と Fulfillment Number が同じであっても、異なっていても、アクティベーション実施済みサーバ に後からほかの製品を導入した場合も、同じく追加処理を実施します。(アクティベーションによる認証は製品単位ではなく、導入サーバ単位になります)



5.1 ポータル サイトにライセンスを追加

Arcserve ライセンス ポータルにログインし、追加したライセンンスの割り当てができるようにします。

(ア) Arcserve ライセンス ポータルへのログイン

下記 URL から Arcserve ライセンス ポータル のログインサイトにアクセスし、ログインします。 https://www.arcserve-register.com/#/login

※ アカウントは、これからライセンスを追加するサーバで使用した、アクティベーション用の電子メールアドレスです。(アドレスが不明な場合は、該当サーバでアクティベーションの画面を開くと、電子メールアドレスが表示されます)

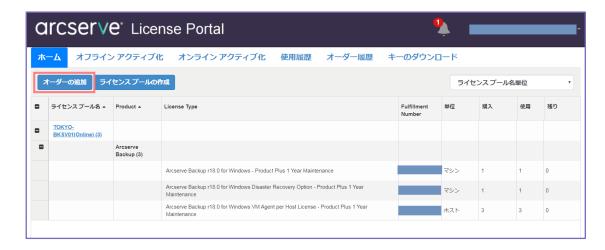


(イ) オーダーの追加選択

ポータルの [ホーム] 画面で [オーダーの追加] をクリックします。



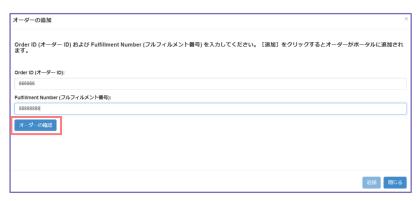




(ウ) Order ID と Fulfillment Number の入力

追加購入用の Order ID と Fulfillment Number を入力し、[オーダーの確認] をクリックします。

※ Arcserve Backup のボックス製品では、同じ Arcserve Backup サーバに追加するオプションやエージェント用の Order ID と Fulfillment Number を 1 つずつ入力し、[オーダーの確認] をクリックします。(プライマリ サーバ の場合は、メンバ サーバ用のベース製品も含みます)

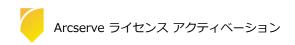


(エ) ライセンス プールの選択

ライセンスを割り当てるライセンスプールを選択し、[追加] をクリックします。



[ライセンスの追加先]



既存サーバに追加する場合は、"既存のライセンスプール"を選択します。

アクティベーションを実施する製品では、"新規ライセンスプール"を利用するケースは多くありませんが、「オンライン アクティベーション」を実施するサーバでは先にライセンス プールを作成しておくこともできます。(間違えて指定した場合でも後から変更できます)

※「製品キーの生成」方式を利用する製品の場合は、"新規ライセンスプール" もしくは "既存のライセンスプール" を選択し、[追加] をクリックします。(オ) のステップに進みます。

[ライセンスプール名]

"既存のライセンスプール"を選択した場合:

追加するサーバに紐付いているライセンス プールを選択します。ライセンス プール名を選択した場合には、追加オーダーで購入されたすべてのライセンスが 1 台のサーバに追加されます。この画面では "TOKYO-BKSV01" を指定し、すべてのライセンスを追加します。

(「オンライン アクティベーション」で、最初のライセンスを全て 1 台のサーバに割り当て ている場合、コンピュータ名のライセンスプールを自動的に作成しています)

"Default(Unassigned Licenses)" は、一部のライセンスのみ割り当てる場合や、空きライセンスとして管理したい場合に指定します。"Default(Unassigned Licenses)" は空きライセンスになるため、後から必要となるライセンス プールに追加できます。

- ※ 一部のライセンスのみを追加する場合は、下記の流れで実施します。
 - ① "Default(Unassigned Licenses)"を選択し、すべてを空きライセンスとして追加
 - ② [ホーム] 画面で既存のライセンス プールをクリックし、表示された画面で追加するライセンスの数を指定し、保存

"新規ライセンスプール"を選択した場合:

ライセンス プール名を付けます。

(オ) ポータル上でライセンス追加を確認

ライセンスプールの更新が完了すると、下記ダイアボックスが表示します。[OK] をクリックします。

"Your order has been added to the Arcserve Portal. You can view all of your licenses in the Products section and review a history of your orders on the Order History tab."

オーダーは Arcserve ポータルに追加しました。[ホーム] タブの製品リストからすべてのライセンスを確認できます。また [オーダー履歴] タブで注文履歴を確認できます。

www.arcserve-register.com の内容

Your order has been added to the Arcserve Portal. You can view all of your licenses in the Products section and review a history of your orders on the Order History tab.

OK

(カ) ボックス製品の追加処理

前ステップにある (イ) から (オ) を繰り返し、追加登録するすべての Order ID / Fulfillment Number をライセンス プールに追加します。

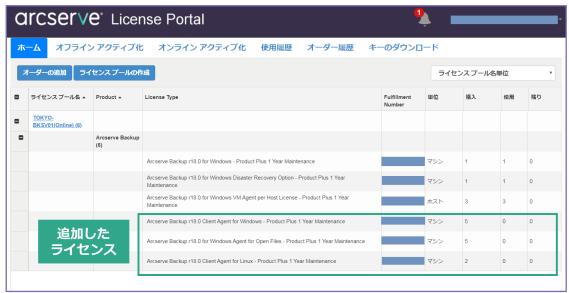


CICSETVE® 2024/7/8 Rev:1.3

(キ) 追加ライセンスの確認

ライセンスプールの情報から追加したライセンスを確認します。ライセンスの追加反映に進みます。

「製品キーの生成」方式を利用する製品の場合は、[4.2 <u>ライセンス キーの発行</u>] からキーのダウンロードと製品への登録を実施します。



「オンライン アクティベーション」を行っている環境では、[5.2 <u>オンライン アクティベーション方式</u>の追加反映] へ、「オフライン アクティベーション」を行っている環境では、[5.3 <u>オフライン アクティベーション</u>」を行っている環境では、[5.3 <u>オフライン アクティベーション方式</u>の追加反映] へ進みます。

5.2 オンライン アクティベーション方式の追加反映

ライセンス登録時と同じく、ライセンスの反映処理を行い、製品側にライセンスを追加します。 Arcserve UDP コンソールと Arcserve Backup ベース製品を同じサーバに同居している環境も、同じく対象の製品でライセンスの反映を行ってください。

- Arcserve UDP は [2.3.1 Arcserve UDP でのライセンス反映] を実施します。
- Arcserve Backup は [2.3.2 Arcserve Backup でのライセンス反映] を実施します。
- Arcserve UDP Archiving は [2.3.3 Arcserve UDP Archiving でのライセンス反映] を実施します。

5.3 オフライン アクティベーション方式の追加反映

「オフライン アクティベーション」環境にライセンスを追加する場合は、activation.arc ファイルを置き換えます。

5.3.1 Arcserve 各製品の反映処理





Arcserve UDP コンソールと Arcserve Backup を同じサーバに導入している場合は、[5.3.2 Arcserve UDP / Backup 同居サーバの反映処理] に進んでください。

Arcserve ライセンス ポータルから activation.arc ファイルをダウンロードし、ライセンスを追加する サーバへの上書きコピーにより、製品側にライセンスを追加します。上書きコピーにはなりますが、手順はオフラインでの登録時と同じになります。すべての製品で [3.2.3 ファイルのダウンロード] から の手順を参照して実行してください。

5.3.2 Arcserve UDP / Backup 同居サーバの反映処理

Arcserve UDP コンソールと Arcserve Backup を同じサーバに導入している場合は、追加する製品が Arcserve UDP でも、Arcserve Backup でも、Arcserve UDP で反映処理を行います。

※ ここでは、Arcserve UDP コンソール と Arcserve Backup ベースの両製品ですでにライセンスを 保有しているサーバに、追加のライセンス (追加のエージェントなど) を反映する処理を記載してい ます。Arcserve UDP コンソール導入サーバに Arcserve Backup ベース製品を導入する場合、もし くはその逆の手順を行なう場合には、[3.4 <u>Arcserve UDP / Backup 同居サーバの追加処理</u>] の手順 を参照してください。

(ア) ファイルのダウンロード

ポータルの画面で [オフラインアクティブ化] をクリックします。

データが更新され、追加割り当てを実施したライセンスが出てきます。内容を確認し、[ダウンロード] をクリックします。(対象サーバが複数ある場合は、左側にチェックマークが付くように、該当サーバをクリックしてから [ダウンロード] をクリックします)



(イ) ファイルの取り出し

ダウンロード完了のメッセージが表示されたら [OK] をクリックし、ダウンロードされた activation.arc ファイルを取り出します。





(ウ) ファイルのコピー

activation.arc を Arcserve UDP コンソールの下記フォルダに上書きコピーします。(追加製品が Arcserve Backup であっても、Arcserve UDP のパスにコピーします)

コピー先: C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\

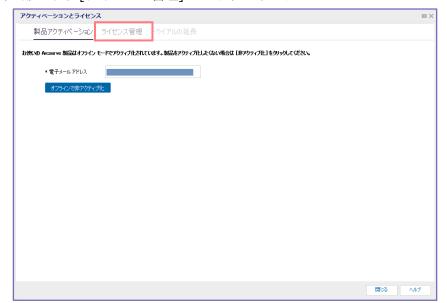
(工) Arcserve UDP コンソールのアクティベーション画面

Arcserve UDP コンソール画面にログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [アクティベーションとライセンス] をクリックします。(追加製品が Arcserve Backup であっても、Arcserve UDP からライセンス反映を実施します)



(オ) Arcserve UDP のライセンス管理画面

画画面上部にある [ライセンス管理] をクリックします。

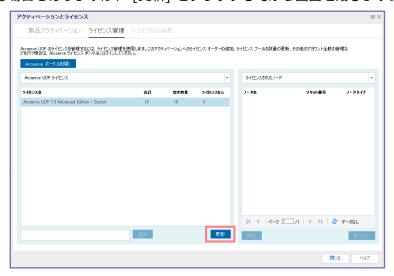




(カ) ライセンス反映

[ライセンス管理画面] が開くと、ロード中となります。

追加する製品が Arcserve UDP の場合は、ロードが終った段階で最新のライセンスになります。追加する製品が Arcserve Backup の場合は、この段階でコピーした activation.arc からライセンスを反映している場合もありますが、 [更新] をクリックしてから画面を閉じます。



(キ) ライセンス反映

割り当たっているライセンス数を確認する場合は、OSのエクスプローラからライセンス モジュールを呼び出し、製品とライセンス本数を確認してください。

C:\Program Files (x86)\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC\CALicnse.exe

6 ライセンスの解放

「オンライン アクティベーション」や「オフライン アクティベーション」でライセンス認証を行なったサーバから、すべてのライセンスを解放するには"非アクティブ化"を実施します。非アクティベートを行なうことにより、利用サーバを変更することができます。「製品キー生成」で製品側に登録したキーを解放する場合には、ライセンスデスクまでお問い合わせください。

6.1 オンライン アクティベーション方式の解放

「オンライン アクティベーション」でライセンスを有効にしている場合は、ライセンスを解放する際もインターネットへの接続が必要になります。(インターネット接続ができない場合には、<u>ライセンスデスク</u>までお問い合わせください)

- Arcserve UDP
- Arcserve Backup

(注意)

Arcserve UDP コンソールと Arcserve Backup ベース製品を同一サーバに導入している場合、どちらかの製品で非アクティブ化を実施すると、2 つの製品のライセンスが解放されます。片方の製品のみライセンスを解放するには、[7.3 ライセンスの割り当て変更] で解放する製品のライセンス数をすべて "0" にします。

6.1.1 Arcserve UDP コンソールでのライセンス解放

(ア) アクティベーション画面

Arcserve UDP コンソール画面にログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [アクティベーションとライセンス] をクリックします。



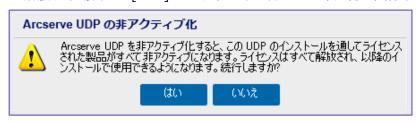
(イ) 非アクティブ化の実行

[非アクティブ化] をクリックします。



(ウ) 非アクティブ化の確認

ライセンスを解放する場合は、[はい]をクリックし、非アクティブ化を実行します。



(工) 非アクティブ化の完了

アクティベーションを実施する前の画面 (電子メール アドレス、Order ID、Fulfillment Number は表示されています) に戻ります。ライセンス プールを解放するため、[6.3 <u>ライセンス プールの削</u>除] に進みます。

6.1.2 Arcserve Backup でのライセンス解放

(ア) アクティベーション画面

Arcserve Backup マネージャ画面の [ヘルプ] から [Arcserve 製品のアクティブ化 (A)] をク リックします。





(イ) 非アクティブ化の実行

[非アクティブ化] をクリックします。



(ウ) 非アクティブ化の確認

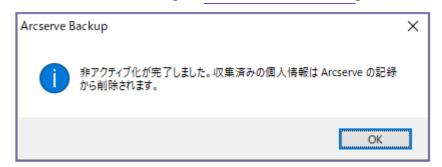
ライセンスを解放する場合は、[はい]をクリックし、非アクティブ化を実行します。



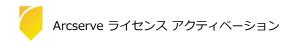
(工) 非アクティブ化の完了

[OK] をクリックします。

ライセンス プールを解放するため、[6.3 ライセンス プールの削除] に進みます。



6.1.3 Arcserve UDP Archiving でのライセンス解放



(ア) アクティベーション画面

スーパー管理者である "Super Admin" で Arcserve UDP Archiving にログイン後、右上のユーザ名をクリックし、[アクティベーションとライセンス] をクリックします。



(イ) 非アクティブ化の実行

[非アクティブ化] をクリックします。



(ウ) 非アクティブ化の確認

ライセンスを解放する場合は、[はい]をクリックし、非アクティブ化を実行します。



(工) 非アクティブ化の完了

[OK] をクリックします。



ライセンス プールを解放するため、[6.3 ライセンス プールの削除] に進みます。



CICSETVE[®] 2024/7/8 Rev:1.3

6.2 オフライン アクティベーション方式の解放

「オフライン アクティベーション」でライセンスを有効にしている場合は、ライセンスの解放で書き換わった offline.arc をライセンス ポータルにコピーすることライセンスを解放できます。

- Arcserve UDP でのライセンス解放
- Arcserve Backup でのライセンス解放
- Arcserve UDP と Arcserve Backup 同居サーバでのライセンス解放
- ライセンス ポータルへのファイル アップロード

6.2.1 Arcserve UDP コンソールでのライセンス解放

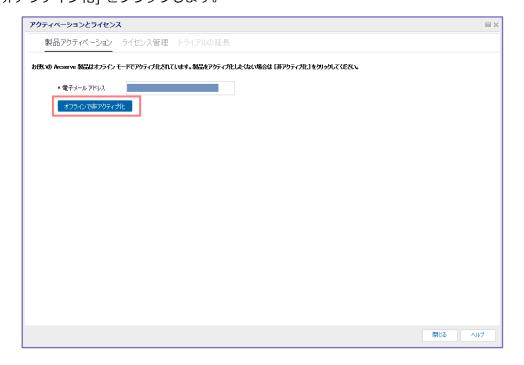
(ア) アクティベーション画面

Arcserve UDP コンソール画面にログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [アクティベーションとライセンス] をクリックします。



(イ) 非アクティブ化の実行

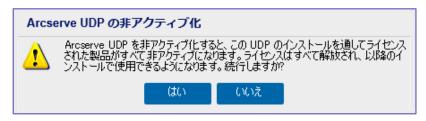
[非アクティブ化] をクリックします。





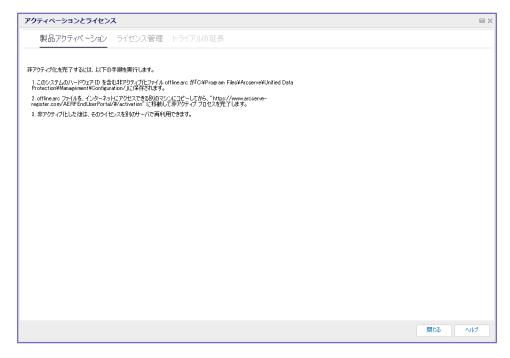
(ウ) 非アクティブ化の確認

ライセンスを解放する場合は、[はい]をクリックし、非アクティブ化を実行します。



(工) 非アクティブ化の完了

非アクティベート情報が offline.arc に書き込まれました。画面を閉じます。



(オ) ファイルの取り出し

「オフライン アクティベーション」のライセンス解放を行なうため、書き換わった offline.arc を下記フォルダから取り出します。

保存先:

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\

[6.2.4 ライセンス ポータルへのファイル アップロード] に進みます。

6.2.2 Arcserve Backup でのライセンス解放

(ア) アクティベーション画面

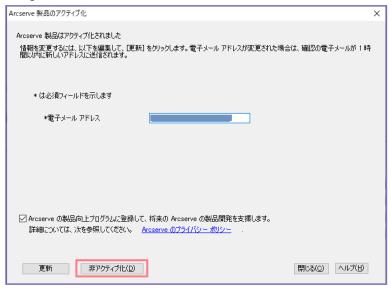
Arcserve Backup マネージャ画面の [ヘルプ] から [Arcserve 製品のアクティブ化 (A)] をクリックします。





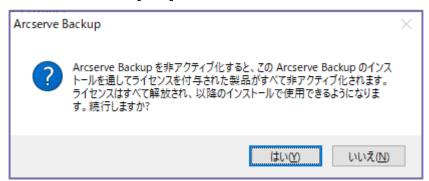
(イ) 非アクティブ化の実行

[非アクティブ化] をクリックします。



(ウ) 非アクティブ化の確認

ライセンスを解放する場合は、「はい」をクリックし、非アクティブ化を実行します。



(工) 非アクティブ化の完了

非アクティベートを offline.arc に書き込むため、[保存] をクリックします。

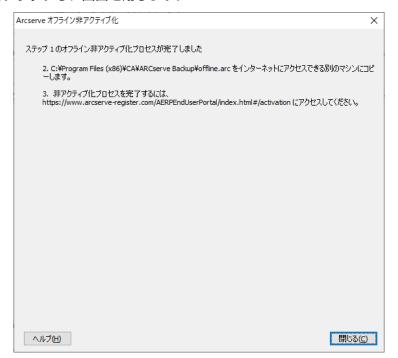
※ [保存] をクリックする前に offline.arc を取り出すと、ライセンス ポータル上でライセンスの解放ができません。





(オ) 画面での非アクティブ化プロセス完了

[閉じる] をクリックし、画面を閉じます。



(カ) ファイルの取り出し

「オフライン アクティベーション」のライセンス解放を行なうため、書き換わった offline.arc を下記フォルダから取り出します。

保存先:

C:\Program Files (x86)\PCA\PARCserve Backup\P

[6.2.4 ライセンス ポータルへのファイル アップロード] に進みます。



6.2.3 Arcserve UDP / Backup 同居サーバでのライセンス解放

Arcserve UDP コンソールと Arcserve Backup を同じサーバに導入している場合は、Arcserve UDP からライセンスの解放を行います。

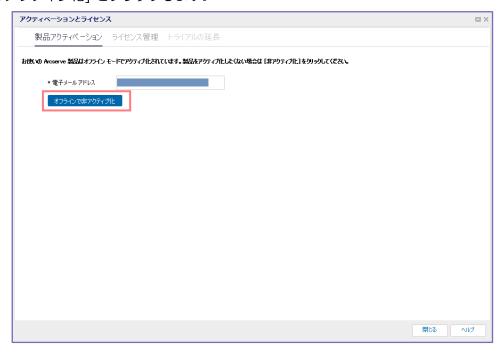
(ア) アクティベーション画面

Arcserve UDP コンソール画面にログインし、画面右上にある [ヘルプ] から [アクティベーションとライセンス] をクリックします。



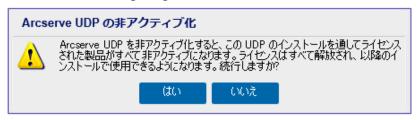
(イ) 非アクティブ化の実行

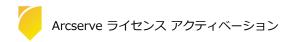
[非アクティブ化] をクリックします。



(ウ) 非アクティブ化の確認

ライセンスを解放する場合は、[はい]をクリックし、非アクティブ化を実行します。

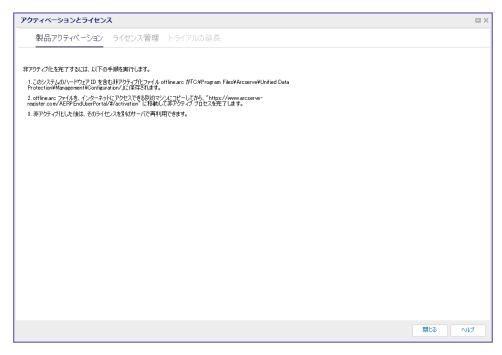






(工) 非アクティブ化の完了

非アクティベート情報が offline.arc に書き込まれました。画面を閉じます。



(オ) ファイルの取り出し

「オフライン アクティベーション」のライセンス解放を行なうため、書き換わった offline.arc を下記フォルダから取り出します。

保存先:

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\

(カ) Arcserve Backup へのライセンス解放の反映

非アクティブ化を実行すると、設定ファイルの "EntitlementRegister_Windows.properties" にも情報が反映されます。Arcserve UDP の "EntitlementRegister_Windows.properties" をArcserve Backup 側にコピーし、2 つの製品でアクティベート状態を解放します。

コピー元: C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\

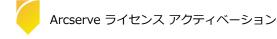
コピー先: C:\Program Files (x86)\CA\ARCserve Backup\

[6.2.4 ライセンス ポータルへのファイル アップロード] にすすみます。

6.2.4 ライセンス ポータルへのファイル アップロード

(ア) ファイル アップロード用のライセンス ポータル サイトにアクセス

インターネットに接続できる環境でブラウザを開き、下記 URL のサイトにアクセスします。 https://www.arcserve-register.com/#/activation





注: 下の画面のように表示が崩れる場合は、1分ほど待ってからブラウザのリロード (更新) ボタンをクリックしてください。

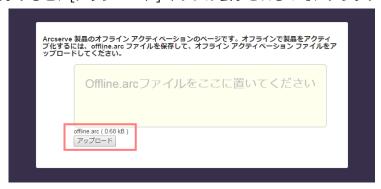


(イ) ファイルをアップロード

取り出した offline.arc ファイルを黄色 の枠内にドロップ (移動) します。(枠 内にファイルをドロップすると、色が 黄色から緑に変わります)



ドロップが完了すると、[アップロード] ボタンが表示されるので、クリックします。



(ウ) 非アクティベートの確認

アップロードが終わると、"お使いの製品が正常に非アクティブ化されました" というメッセージ ボックスが表示されます。

※ このメッセージが出ない場合は、取り出した offline.arc に非アクティベート化の情報が記録されていません。製品側の非アクティベートの画面が残っている場合はすべての処理を行なってから offline.arc を取り出し、ファイルのアップロードから再度実行してください。(Arcserve UDP コンソールと、Arcserve Backup ベース製品を同じサーバに同居している場合は、さらに設定ファイルの "EntitlementRegister_Windows.properties" のコピーも再度実行します)



ライセンス プールを解放するため、[6.3 ライセンス プールの削除] に進みます。

6.3 ライセンス プールの削除

非アクティブ化により、サーバとライセンス プールの紐付けは消えていますが、解放したライセンスを空きライセンスとして管理するには、ライセンス プールの削除を行ないます。

(ア) ライセンス ポータルにログイン

下記 URL から Arcserve ライセンス ポータル のログインサイトにアクセスし、ログインします。 https://www.arcserve-register.com/#/login

※ アカウントは、非アクティブ化を実施したサーバ に登録されていた電子メールアドレスです。

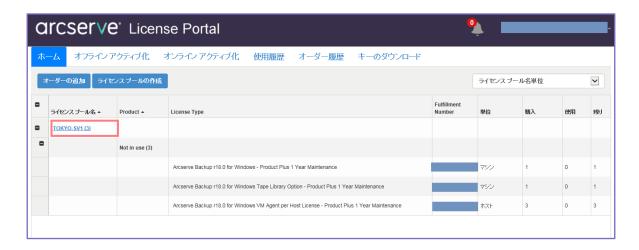


(イ) 削除するプールの選択

ポータルの [ホーム] 画面で 非アクティブ化を行なったサーバで利用していたライセンス プールをクリックします。 ここドキュメントでは、"TOKYO-SV1" を選択します。

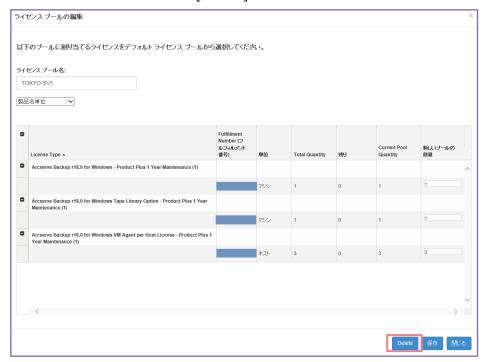






(ウ) 削除するプールの選択

ライセンス プールの画面右下にある [Delete] をクリックします。



(工) 削除の確認

確認画面の右下にある青い [○] をクリックします。

```
ライセンス プールの削除: TOKYO-SV1

削除されたライセンスは、デフォルトプールに戻って追加されます。
ライセンス ブールを削除しますか?
```

(オ)プールの削除





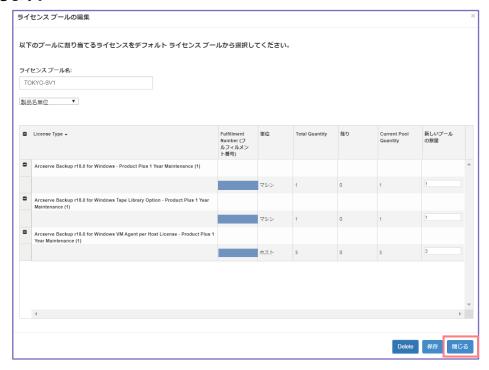
プールの削除が終わると、"Successfully deleted the pool and added deleted licenses to Default(Unassigned Licenses)" プールの削除と、Default(Unassigned Licenses) に削除したライセンスの追加が成功しました。というメッセージが表示します。

[OK] をクリックします。

ライセンスプールの削除	
successfully deleted the pool and added deleted licenses to Default(Unassigned Licenses)	
	OK

(カ) 画面の終了

画面を閉じます。



(キ) プール削除の終了 (ホーム画面の更新)

ポータルの [ホーム] 画面に戻ります。ライセンス プールは削除され、Default(Unassigned Licenses) に空きライセンスとして追加されます。

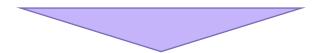
内容を確認するには、[ホーム] 画面を開きなおします。







ほかのタブをクリックしてから [ホーム] 画面に戻るか、ブラウザの更新ボタンをクリックします。



プール名が "Default(Unassigned Licenses)" に変わります。



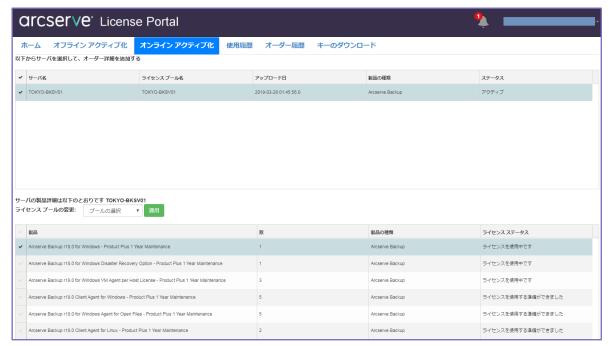
CICSETVE[®] 2024/7/8 Rev:1.3

7 その他

この章では、Arcserve ライセンス ポータルでのその他の機能や、問い合わせ先などを案内します。

7.1 ライセンスの確認

[オンライン アクティブ化]、もしくは [オフライン アクティブ化] の画面を開くと、ライセンスを割り当てているサーバと紐付いているライセンス プール名、割り当てている製品や本数を確認できます。



7.2 電子メール アドレスの変更

「オンライン アクティベーション」を行なっている環境では、Arcserve の製品のアクティベーション画面から電子メール アドレスを変更できます。

※ 電子メール アドレスを変更すると、ライセンス ポータルのアカウントも変更した電子メール アドレス に変わります。

「**オフライン アクティベーション**」を行なっている環境で電子メール アドレスを変更する場合は、<u>ライ</u>センスデスクまでお問い合わせください。

(ア) アクティベーション画面 (Arcserve Backup の場合)

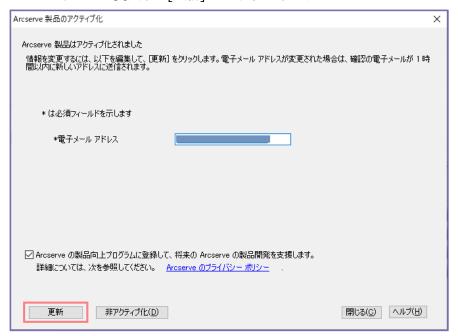
Arcserve Backup の場合は、Arcserve Backup マネージャ画面の [ヘルプ] から [Arcserve 製品のアクティブ化 (A)] をクリックします。(Arcserve UDP の場合は、コンソール画面の [ヘルプ] から [Arcserve 製品のアクティブ化 (A)] をクリックします)





(イ) 電子メールアドレスの変更

電子メール アドレスを変更し、[更新] をクリックします。



(ウ) メールのリンクをクリック

変更した電子メール アドレスにメールが届きます。メール本文の "アクティベーションを完了する" をクリックします。



ライセンスポータルの画面が開きますが、そのまま閉じてください。

7.3 ライセンスの割り当て変更

複数の Arcserve UDP コンソールや Arcserve Backup ベース製品に割り当てているライセンスの割り当て数を変更するには、ライセンス プールを編集し、製品側に反映させます。(例: A サーバのライセンスの一部を B サーバへ移動)

- ※1 ライセンスの割り当て変更は同じ電子メール アドレスでアクティベーションを行なっている環境で実施できます。
- ※2 「オンライン アクティベーション」環境で、異なる電子メール アドレスでアクティベーションを行なっている場合は、電子メール アドレスの変更が必要です。変更する場合は [7.2 電子メール アドレスの変更] の参照してください。(「オフライン アクティベーション」環境の場合は、ライセンスデスクにお問い合わせください)

7.3.1 ライセンスの一部を解放

このドキュメントでは、ライセンス プール: "永田町" に割り当てているライセンスの一部を、ライセンス プール: "TOKYO" に移動します。

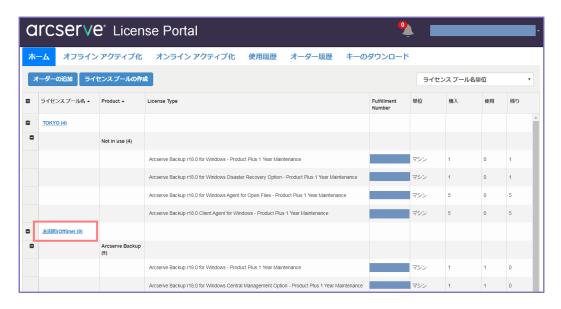
(ア)解放するプールを選択

[ホーム] 画面から、ライセンスを解放するライセンス プールを選択します。 このドキュメントでは、"永田町" を選択します。



2024/7/8 Rev:1.3

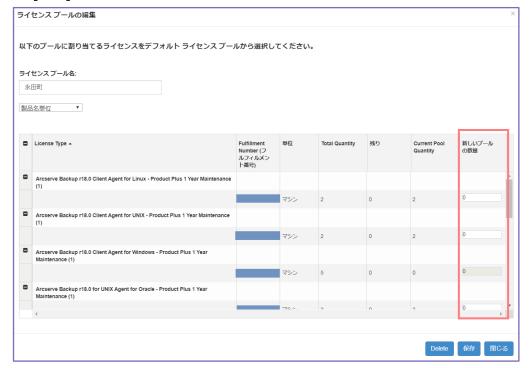




(イ) 割り当て数を変更

右側の数字を変更し、割り当てを変更する製品のライセンス数を変更します。編集しているライセンス プールに割り当てる数の指定のため、解放しないライセンスの数字は変更しません。このドキュメントでは3つの製品のライセンスを解放します。(0以外も指定できます)

最後に [保存] をクリックします。



(ウ) 更新の確認

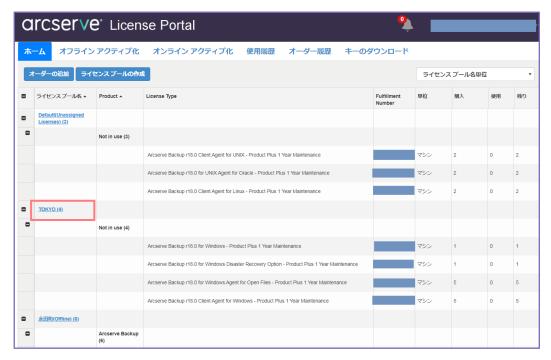
このメッセージが表示されたら、[OK] を クリックします。 www.arcserve-register.com の内容 ライセンス プールが正常に更新されました。 OK





(工) 移動先のプールを選択

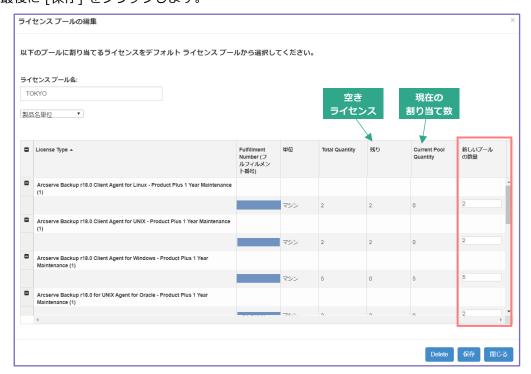
解放されたライセンスが "Default(Unassigned Licenses)" に入ります。次に移動先のライセンスプールを指定します。このドキュメントでは、"TOKYO" を選択します。

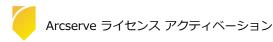


(オ)移動先のプールを選択

右側の数字を変更し、空きライセンスの範囲内で移動先のプールにライセンス数を指定します。編集しているライセンス プールに割り当てる数の指定のため、変更しないライセンスの数字はそのままにします。このドキュメントでは3つの製品のライセンスをすべて追加します。

最後に [保存] をクリックします。





CICSETVE® 2024/7/8 Rev:1.3

(力) 更新の確認

このメッセージが表示されたら、[OK] を クリックします。



(キ) プールの変更反映の確認

ライセンスの移動を確認し、Arcserve 製品側にライセンスを反映させます。

Grcserve License Portal									
赤	-ム オフライン	アクティブ化	オンライン アクティブ化 使用履歴 オーダー履歴 キーの	ダウンロード					
オーダーの追加 ライセンス ブールの作成				ライセンス プール名単位 🔻					
•	ライセンスプール名▲	Product -	License Type	Fulfillment Number	単位	購入	使用	残り	
0	<u>TOKYO (7)</u>								
		Not in use (7)							
			Arcserve Backup r18.0 for Windows - Product Plus 1 Year Maintenance		マシン	1	0	1	
			Arcserve Backup r18.0 for Windows Disaster Recovery Option - Product Plus 1 Year Maintenance		マシン	1	0	1	
			Arcserve Backup r18.0 for Windows Agent for Open Files - Product Plus 1 Year Maintenance		マシン	5	0	5	
			Arcserve Backup r18.0 Client Agent for Windows - Product Plus 1 Year Maintenance		マシン	5	0	5	
			Arcserve Backup r18.0 Client Agent for UNIX - Product Plus 1 Year Maintenance		マシン	2	0	2	
			Arcserve Backup r18.0 for UNIX Agent for Oracle - Product Plus 1 Year Maintenance		マシン	2	0	2	
			Arcserve Backup r18.0 Client Agent for Linux - Product Plus 1 Year Maintenance		マシン	2	0	2	
0	永田町(Offline) (6)								

7.3.2 ライセンス反映 (オンライン)

変更したライセンスを製品側に反映させます。ライセンス登録時と同じく、ライセンスの反映処理を行い、製品側にライセンスを追加します。

Arcserve UDP は [2.3.1 Arcserve UDP でのライセンス反映] を実施してください。
Arcserve Backup は [2.3.2 Arcserve Backup でのライセンス反映] を実施してください。
Arcserve UDP Archiving は [2.3.3 Arcserve UDP Archiving でのライセンス反映] を実施してください。

7.3.3 ライセンス反映 (オフライン)

製品側に反映させます。ライセンス登録時と同じく、Arcserve ライセンス ポータルから activation.arc ファイルをダウンロードし、ライセンスを追加するサーバへの上書きコピーにより、製品側にライセンスを追加します。上書きコピーにはなりますが、手順はオフラインでの登録時と同じに なります。

ライセンスを追加するサーバで、Arcserve UDP コンソールと、Arcserve Backup ベース製品が同居している場合は、[5.3.2 Arcserve UDP / Backup 同居サーバの反映処理]の手順を、そのほかの環境では、[3.2.3 ファイルのダウンロード]からの手順を参照して実行してください。



CICSEIVE® 2024/7/8 Rev:1.3

7.4 インターネット プロキシの設定

「オンライン アクティベーション」を行う環境で、インターネットプロキシ経由で外部と接続する場合は、アクティベーションを実施する前に、設定ファイルを編集します。

■ 設定ファイル EntitlementRegister_Windows.properties

■ パス

UDP: C:\program Files\psi Arcserve\psi Unified Data Protection\psi Management\psi Configuration\psi Arcserve Backup\psi C:\psi Program Files (x86)\psi CA\psi ARCserve Backup\psi

■ 設定方法

設定ファイルをメモ帳などで開き、下記2行をファイルの最後に追加して保存します。

PROXY_HOSTNAME=プロキシサーバのホスト名 PROXY_PORT_NUMBER=ポート番号

7.5 下位互換 (後方互換) ライセンスの登録

Arcserve UDP と Arcserve Backup では、過去バージョンのエージェント製品のバックアップやリストアを行なう、下位互換 (後方互換) をサポートしています。下位バージョンの製品キーは手動で追加してください。

Arcserve UD の下位互換 (後方互換) に関する内容はマニュアルをご覧ください。 Arcserve Backup の下位互換に関する内容は下記サポート ページをご覧ください。

Arcserve Backup 18.0 下位互換サポート

https://support.arcserve.com/s/article/201903122?language=ja

※ Arcserve UDP コンソールや Arcserve Backup ベース製品を上書きでインストールした場合は、下位 バージョンの製品キーが反映されているため、この後の作業は不要です。

(ア) ライセンス モジュールの起動

Arcserve UDP コンソールや Arcserve Backup ベース製品の導入サーバにて、下記のライセンス モジュールを開きます。

C:\Program Files (x86)\Program Files (x86)\Pro





(イ) 下位バージョンの製品キー入力

25 桁のキーを入力し、[追加] をクリックします。(必要なすべての製品のキーを追加します)



(ウ)入力キーの反映

すべての製品のキーの入力が終ったら、最後に必ず [OK] をクリックします。



(工) 追加した製品の確認

CALicnse.exe を再度起動し、入力した製品がコンポーネント リストにあるか確認します。



CICSEIVE® 2024/7/8 Rev:1.3



7.6 ドキュメント

Arcserve ライセンス アクティベーションに関する詳細は、下記ドキュメントを参照してください。

Arcserve 製品 ライセンス ユーザガイド

HTML 版 (Arcserve 製品ライセンス オンライン ヘルプ):

http://documentation.arcserve.com/Arcserve-Licensing/Available/JPN/HTML/LIC/Default.htm

クイック スタート ガイド

Arcserve UDP 編:

https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/03/as-activation-qguide-udp.pdf

Arcserve Backup 編:

https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/03/as-activation-qguide.pdf

Arcserve RHA 編:

https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/05/rha-activation-gguide.pdf

Arcserve UDP Archiving 編:

https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/03/as-activation-qguide-udpa.pdf

よくあるご質問と回答

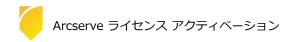
http://www.arcserve.com/wp-content/jp/uploads/2017/11/activation-faq.pdf

7.7 お問い合わせ先

ジャパンダイレクト

製品ご購入前のお問い合わせなど

ライセンスデスク



ライセンス アクティベーションに関する処理依頼や動作内容に関するお問い合わせなど

お問い合わせ方法と受付時間

お問い合わせ方法や、受付時間については、下記リンクを参照してください。https://www.arcserve.com/jp/about/contact/call-me/

7.8 ドキュメント変更履歴

Rev 1.0: 2019年4月1日 リリース

Rev 1.1: 2019年5月7日 リリース

- 対象製品 (Arcserve UDP / RHA) 追加
- キー生成方法追加
- キー生成方法追加にともなうアクティベーションの表現変更

Rev 1.2: 2019年6月5日 リリース

- Arcserve UDP / Arcserve Backup 同居時のアクティベーションの追加
- Arcserve UDP / Arcserve Backup 同居時のライセンス解放の追加
- Arcserve UDP Archiving のライセンス解放の追加
- Arcserve UDP / Arcserve RHA キー生成方法の修正
- インターネット プロキシ設定の追加
- Arcserve RHA クイック スタート ガイドのリンク追加
- 行間変更と画面配置変更

Rev 1.3: 2024年7月8日 リリース

■ リンク切れの修正

